

阪神・淡路大震災15周年記念事業一覧

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
1	神戸	2009神戸全日本女子ハーフマラソン大会	2009神戸全日本女子ハーフマラソン大会実行委員会	11	22	～	11	22	HAT神戸高浜岸壁	<震災記念マラソン> ・震災復興のシンボルであるHAT神戸をスタートとし、震災から復興し、大きく変貌する、三宮・元町・新開地・長田御蔵地域を経てハーバーランドへ至るコースのマラソン大会 ・約2,000人のランナーが復興した街並みを走る様子をテレビ中継や新聞報道等により発信 ・フィニッシュ地点付近で、防災をテーマとする絵手紙展を開催。ランナーへ防災カレンダーを配布	2,404		共同	全県	78,613,227	5,000,000
2	神戸	1.17防災のこころを伝える絵手紙展2010	特定非営利活動法人ニイティ	10	1	～	1	31	人と防災未来センター	<防災絵手紙教室> ・「防災のこころを伝える絵手紙教室」を日本語学校や小学校、一般企業等で開催(12回) ・「防災のこころを伝える絵手紙展」を人と防災未来センターで開催 ・昨年度の絵手紙作品を活用した「防災カレンダー」を企画・発行した。	26,000		自主	全県	2,914,300	1,449,000
3	神戸	ひまわりコンサート	ひまわりコンサート実行委員会	10	31	～	10	31	兵庫県立芸術文化センター中ホール	<追悼コンサート> ・震災の犠牲者を追悼するとともに、震災を忘れないよう、震災復興のシンボルである「ひまわり」をテーマとした曲等のコンサート ・「ひまわり」は、2001年に神戸21世紀・震災復興記念事業(神戸市などが主催)で震災復興のシンボルとして選ばれた花。震災10周年(2005年)の際、震災を風化させないようにという願いを込めて、シンガーソングライターの梅原司平氏に震災をテーマとした「ひまわり」という曲の作成を依頼し、コンサートを開催した。	558		自主	全県	2,028,094	619,000
4	神戸	防災検定事業、キッズ防災検定事業	特定非営利活動法人 検定協議会	12	1	～	1	31	ウェブ携帯小学校	<防災教育> ・防災に関する知識を楽しみながら習得できる防災検定をWebサイト、携帯サイトで実施 ・昨年からバージョンアップした「防災検定バージョン2」と、新たに、子ども向けの「キッズ防災検定」を実施。キッズ検定に関しては、合格者に認定証を発行した。	32,296		自主	全県	4,010,321	2,000,000
5	神戸	阪神・淡路大震災15周年記念「防災市民サミット」	特定非営利活動法人 健康まちづくり推進協会	10	3	～	10	3	神戸花鳥園 特設会場	<防災市民サミット> ・講話(テーマ:「「ありがたい」と感じたのは、水、知恵、人のこころ」(震災語り部による)) ・パネルディスカッション(テーマ:「伝える」「備える」) ・展示(震災当時の写真パネル及び資料を会場内に展示)	500		自主	全県	1,105,734	543,000
6	神戸	「1.17.希望の灯り」を用いたランプワークデモンストレーション	ジャパンランプワークソサエティ	12	12	～	1	19	KOBEとんぼミュージアム 他	<追悼イベント> ・震災犠牲者鎮魂のシンボルとして灯り続ける「1.17希望の灯り」の分灯を火種とした海外のアーティストによるガラス細工のデモンストレーション制作を通して、この灯りに託された鎮魂と再生への思いを参加者に紹介 ・震災犠牲者の鎮魂のメッセージを込めた作品を制作 ・制作に先立ち、参加者に「1.17希望の灯り」の持つ意義を説明	150		自主	全県	1,465,304	500,000
7	神戸	慰霊と復興のモニュメントに新たにお名前を掲示するつどい	特定非営利活動法人 阪神淡路大震災1.17希望の灯り	12	20	～	12	20	三宮東遊園地 慰霊と復興のモニュメント	<追悼式典> ・慰霊と復興のモニュメントへの名前の掲示のための式典を実施 ・遺族への銘板手渡し・掲示、水面への献花	89		自主	全県	429,184	200,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
8	神戸	命を守る食体験防 災フェア	NPO法人 イベ ントサポート兵庫	11	15	～	11	15	兵庫楽農 生活セン ター	<防災教育> ・災害を想定した炊き出し、新鮮野菜収穫体験 ・ステージでの、子ども向けキャラクターショー(レスキューファイアー)、舞子高等学校 による防災学習発表、神戸西消防隊員によるAED操作体験、吹奏楽演奏等 ・防災コーナーでの、起震車による地震体験、舞子高等学校による防災研究展示、フェ ニックス共催の加入促進活動等 ・ナタネ搾油・BDF(緊急時のバイオディーゼルの製造施設の見学)	3,600		自主	全県	3,244,310	1,530,000
9	神戸	平成21年度日本福 祉施設士会 第20 回近畿ブロックセ ミナー兵庫大会	兵庫県福祉施設 士会	10	22	～	10	23	神戸ポート ピアホテル エメラルド の間	<災害時要援護者対策に関するセミナー> ・講演「多様性を認め合い、楽しむ時代に」災害時に想定される要援護者の差別や社 会的排除の要素を盛り込み、安心して暮らせる地域社会づくりの必要性についてメッ セージを発信 ・講演「災害時に要援護者をどう支えるか」色々な角度から、災害時の要援護者支援 について考える	101		自主	全県	926,567	440,000
10	神戸	全国足湯ボランテ ィア交流会	神戸大学学生震 災救援隊	10	31	～	11	1	神戸大学 国際文化 学部、瀧川 記念学術 交流館	<災害ボランティア交流会> ・2004年の新潟県中越地震の際に現地で足湯の活動をされていた方を講師に向かえ、 足湯のやり方を改めて学ぶ講習会、足湯の活動を行う全国の団体による活動報告会 の実市(10/31(土)) ・足湯の活動の紹介とその効能、活動を通して見えてきた問題などの報告、医療分野や 社会学分野など学術的な面から足湯について考えるパネルディスカッション(11/1(日))	60		自主	全県	467,409	233,000
11	神戸	神戸と新潟を結ぶ 震災ボランティア交 流事業	社会福祉法人 神戸市社会福祉 協議会	10	23	～	1	26	新潟県小 千谷市総合 体育館 デュオこう べ、デュオ ギャラリー	<震災学習、出張朗読(新潟県小千谷市)> ・小千谷市で震災語り部のボランティア活動を紹介するとともに、ボランティア交流を兼ね て現地の小中学校に出向き震災学習啓発 <神戸・小千谷震災交流展(神戸市)> ・神戸の子どもたちやボランティアグループから小千谷市へ贈る「折り紙作品」やこれまで の交流の歩みを紹介したパネル展	3,195		自主	全県	1,009,304	500,000
12	神戸	被災地建築士によ る「家具転倒から家 族を守る」家庭の安 全確保	社団法人 兵庫 県建築士会	10	1	～	3	30	HAT神戸、 西宮市市 民会館他	<防災出前講座> ・説明会等に使用する資料の作成、説明者対象の研修会(10月～12月) ・「家具等の転倒防止対策」解説会と体験学習会(1/9(土)・7地区) ・自主防災組織及び自治会等への啓発活動の実施(2月～3月・約10回)	2,207		自主	全県	1,517,326	750,000
13	神戸	KOBE Biennale FES BRASS&ROCK	神戸ビエンナー レフェス実行委員 会	10	3	～	10	25	神戸夙川学 院大学野外 ステージ メリケンパ ーク特設ス テージ	<震災記念コンサート> ・神戸の小中学生から社会人までの吹奏楽団が参加するコンサート(10/3(土)) ・神戸出身のミュージシャンたちによるロックコンサート(10/25(日)) ・阪神・淡路大震災を知らない若者たちに、震災の写真パネル(約30点)等の展示によ り、震災の経験を伝える。あわせて、神戸、淡路、能登、新潟などの震災復興地域の産 品販売と観光プロモーションを実施	5,300		自主	全県	3,214,449	1,500,000
14	神戸	ORANGE	PEOPLE PURPLE	11	14	～	1	17	神戸ビエン ナーレ 2009メリケ ンパーク会 場、前進座 劇場、前進座 劇場	<震災演劇> ・消防士に取材を行い、実話を元に阪神・淡路大震災を描いた演劇「ORENGE」を上演。 神戸ビエンナーレ2009メリケンパーク会場 11/14(土)18:00～ 前進座劇場 1/15(金)18:30～、1/16(土)14:00～、1/17(日)13:00～	1,170		自主	全県	6,192,015	2,000,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
15	神戸	映像と実大模型を 組み合わせた子供 向け体験型防災教 育の普及啓発	特定非営利活動 法人 安心安全 のまちづくり機構	10	1	～	12	31	朝来市立 枚田小、神 戸市立須 磨竜が台 小、加古川 市立別府 小	<防災教育教材の作成> ・兵庫県が行った実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)での実験映像を子供 向けに解説・編集 ・小学校等において地域住民や児童を対象に体験型家具固定訓練を実施 ・防災・減災教育用の木造軸組み模型を用いて、学校教職員や自治会役員等にもリー ダー研修を実施	850		自主	全県	3,527,618	1,763,000
16	神戸	国際連合地域開発 センター防災計画 兵庫事務所10周年 記念シンポジウム 「持続可能な地域開 発に向けて」	国際防災シンポ ジウム実行委員 会	11	27	～	11	28	よみうり神 戸ホール	<国際防災シンポジウム> ・防災対策及び復興の過程で取り残された人々に焦点をあて、災害時に脆弱な存在とな りうる人々(女性や、子ども、障害者、高齢者など)に配慮した自助、共助、公助による災 害リスクの軽減のあり方、コミュニティ防災、そして、安心安全のまちづくりに向けた世界 各国の様々な取り組みに関する基調講演やパネルディスカッション ・海外からの参加者に対して、阪神・淡路大震災から15年を経た神戸の復興事例を視察 するフィールドトリップ	600		共同	全県	10,358,887	5,000,000
17	神戸	歴史都市防災シン ポジウム「世界の復 興事例から」	国際連合地域開 発センター国際 防災シンポジウ ム実行委員会	10	15	～	10	15	よみうり神 戸ホール	<国際震災復興シンポジウム> ・ネパール、インドネシア、中国からのゲスト、ベトナムにおいて歴史都市防災を展開して きた専門家、京都(立命館大学)・神戸の専門家を招き、文化財を豊富に持つ都市におけ る災害リスク管理及び都市計画、及び歴史的景観のリスクに対する備えおよび復旧復興 に関する政策に関して議論を深め、互いの経験の交流、及びこれからの歴史都市防災 政策に何が必要となるかを議論するとともに、歴史都市防災の重要性に関して市民に発 信	170		共同	全県	2,256,988	1,061,000
18	神戸	阪神・淡路大震災 体験継承・防災コン テンツ放送事業	1、17ブロードバ ンドTV	10	1	～	3	31	インター ネット放送	<震災行事の記録・配信> ・阪神・淡路大震災の体験や防災・減災に関する講演・シンポジウム等を、撮影記録、編 集し、インターネットで動画配信(2005～2009年に実施された380行事・1,220時間を含む) ・兵庫県で開催されていた防災・減災に関する講演等の記録を必要な時に繰り返し見る ことができるので、大変参考になるとの声を得た。(年間アクセス実績32,000件)	32,000		自主	全県	6,439,790	2,000,000
19	神戸	震災復興の街を歩 くミニウォークラリ ー～ハーバーボン バー2009と連携～	兵庫県地域ラジ オネットワーク連 絡会	10	11	～	3	30	高浜岸壁 ～メリケン 震災記念 公園～南 京町界限	<震災記念ウォーク> ・震災から復興をとげた神戸の街を、震災語り部やボランティアガイドと歩きながら、当時 を振り返り、風化しつつある当時のことを再確認 ・ラジオ関西、県内コミュニティFMのパーソナリティがウォークに参加し、当ウォークラ リーの様子を各番組で発信 ・上記にあわせて、ラジオ放送により、防災力県民運動の広報など防災に関する啓発を 実施	119		自主	全県	14,114,866	2,000,000
20	神戸	「伝える 阪神・淡路 大震災の教訓」ラジ オによる発信	震災教訓発信ラ ジオ実行委員会	10	5	～	3	30	ラジオ関 西、県下コ ミュニティ FM	<ラジオによる震災教訓の発信(ラジオ関西)> ・ラジオ番組「谷五郎のところにきくラジオ」内で、冊子「阪神・淡路大震災～伝える～」を もとに「いのち」、「暮らす」、「創る」、「支える」のテーマに沿った冊子朗読シリーズを展 開。当時の体験談を聞く電話出演やインタビュー収録。現在の取組なども紹介。放送した 音声は専用Webサイトで再配信(10分コーナー/週1回×期間計26回) <ラジオによる震災教訓の発信(県内コミュニティFM10局)> ・防災関連情報をインフォメーションCMとして放送(60秒×10局×6回)	ラジオ放送		共同	全県	13,692,280	4,500,000
21	神戸	阪神淡路大震災の 体験を生かした被災 地支援活動記録 誌の発行	特定非営利活動 法人 ひまわりの 夢企画	10	1	～	12	31	特定非営 利活動法 人ひまわ りの夢企 画事務 局	<復興支援ボランティア活動記録誌> ・阪神・淡路大震災の復興支援体験を生かした、能登、中越、宮城等での復興支援ボラ ンティア活動を現地取材や寄稿依頼を通して冊子にまとめ、関係者・関係機関に配布 ・記録を残すことにより、防災ボランティアの参考書となり、また、震災復興の研究者の資 料として貢献	1,000部		自主	全県	856,276	400,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
22	神戸	小規模住宅の基礎と地盤に関する普及事業～より安全な住まいづくりのために～	社団法人 兵庫県建築士会	10	29	～	3	31	私学会館、南あわじ市緑公民館	<安全な住まいづくりに関するセミナー> ・小規模住宅の基礎と地盤に関するテキスト(内容:基礎知識、増幅、耐震化、軟弱地盤、保険適用、法的トラブルへの注意点や対策など)を作成し、セミナーを開催 ・地震に強い、より安全な住まいづくりのために、建築関係者をはじめ市民に対して住宅に関する正しい知識を普及	1,000部		自主	全県	2,170,125	1,000,000
23	神戸	神戸JAZZ2009	神戸JAZZ実行委員会	10	9	～	10	10	神戸文化ホール(大ホール)	<震災記念コンサート> ・中学生から大学生までの学生ジャズビッグバンド、プロのジャズミュージシャンによるジャズコンサート ・神戸にゆかりのジャズを通して、震災を知らない若い世代へ震災の経験を伝える ・当日配布するパンフレットに防災啓発記事を掲載 ・ロビーで国内外の被災者支援の募金活動を実施 ・コンサートの模様は、FM、COCOLOの特別番組で放送	1,300		自主	全県	8,238,160	1,000,000
24	神戸	海上アート展	神戸ビエンナーレ組織委員会	10	3	～	11	23	神戸港	<震災記念アート展> ・神戸港における芸術家3名の作品展 ・震災を直接的に表現するなど震災をモチーフにした作品を展示し、防災、減災、復興等あらゆる過程において人が持つ豊かな感性と創造力がいかに大切かを芸術を通して発信	164,000		共同	全県	15,434,663	5,000,000
25	神戸	「Link～しなやかな逸脱」展	神戸ビエンナーレ組織委員会	10	3	～	11	23	兵庫県立美術館	<震災記念美術展> ・神戸にゆかりのある現代美術家12名の作品展 ・震災を直接的に表現するなど震災をモチーフにした作品を展示し、防災、減災、復興等あらゆる過程において人が持つ豊かな感性と創造力がいかに大切かを芸術を通して発信	164,000		共同	全県	20,000,000	5,000,000
26	神戸	阪神・淡路大震災15周年記念 市民ステージ	市民ステージ実行委員会	12	3	～	12	14	旧外国人居留地及び東遊園地	<防災市民ステージ> ・参加者(44団体)がステージ上で震災の体験談や教訓、防災啓発のメッセージを発表 ・発表されたメッセージを集約した冊子を作成し、全国の関係自治体に配布 ・震災の体験や記憶が風化しないよう、このステージでのアピールを通じて、震災の教訓や防災意識を呼び起こすとともに、それらを全国に向けて発信	44団体		共同	全県	10,000,000	5,000,000
27	神戸	レスコンシンポジウム2009	レスキューロボットコンテスト実行委員会	10	1	～	1	11	神戸市立青少年科学館	<レスキューロボットシンポジウム> ・阪神・淡路大震災における救助活動、レスキューロボットの現状、レスキューロボットコンテストへの出場体験に関する講演を実施 ・レスキュー資機材のデモンストレーションを実施 ・第10回レスキューロボットコンテスト(H22.8)の概要を紹介	94		自主	全県	442,592	216,000
28	神戸	国際緊急援助を通じた阪神・淡路大震災の教訓の発信	国際緊急援助支援実行委員会	11	14	～	3	31	三木防災公園他	<国際緊急援助ワークショップ> ・一般参加者が高度な緊急援助を体験 ・海外・県外の世界をリードする災害救助関係者と震災の経験や教訓を共有するワークショップを開催	1,800		共同	全県	9,581,120	2,500,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
29	神戸	民団防災対策委員会「阪神・淡路大震災15周年記念事業」	韓国民団兵庫県本部防災対策委員会	10	11	～	3	31	兵庫韓国文化教育院会館、各支部開館	<防災訓練> ・講演、避難訓練、心肺蘇生法講習、消火訓練、炊き出し訓練、防災クイズを消防署や地域の防災会と連携して実施、県内6支部でAED講習や応急救護の訓練を実施 <防災体験学習> ・兵庫県広域防災センターで防災体験学習を実施(11月) <追悼イベント> ・鎮魂歌、震災スライド上映などの文化公演を開催(1/8(金))	750		自主	全県	4,816,933	1,195,000
30	神戸	あなたに救える"いのち"がある	神戸市心肺蘇生法を広める会	10	1	～	3	31	各地域福祉センター、幼・保育園、小中学校、スポーツクラブ等の団体	<応急救護講習会> ・心肺蘇生法、AEDの使用法を中心とした応急手当の講習会を県内各地で開催	795		自主	全県	202,203	101,000
31	神戸	阪神・淡路大震災復興15年イベント「がんばろう神戸、DREAM VS「プロ野球55年会」55CHALLENGERS	阪神淡路大震災チャリティマッチ実行委員会	12	20	～	12	20	スカイマークスタジアム	<震災記念イベント> ・兵庫県出身のプロ野球選手で構成されたチームと「プロ野球55年会」の選手で構成されたチームとのチャリティマッチ ・兵庫県内の少年少女に対する野球教室の実施 ・阪神・淡路大震災時のパネル展示 ・阪神・淡路大震災に関する映像の放映	3,000		共同	全県	8,334,201	2,000,000
32	神戸	竹の台地域・竹の台小学校合同防災教育、訓練	竹の台防災・防犯福祉コミュニティ	11	26	～	1	15	竹の台小学校	<防災訓練> ・地域住民の指導による子ども防災訓練の開催(11/26(木)) ・語り部による震災体験、避難所生活に関する講話の開催(1/15(金)) ・消防署、神戸看護大学の指導による救急訓練(心肺蘇生法、AED、三角巾・包帯の使用法、簡易担架の作成、搬送方法)の開催(1/15(金))	4,000		自主	地域	243,217	116,000
33	神戸	玉津地区震災復興もちつき炊き出し事業および鎮魂のつどい事業	特定非営利活動法人 神戸環境教育研究所	11	28	～	1	17	玉津第一小学校、宮下公園、長畑地区他	<追悼イベント> ・地域に住居している老人、大人、子どもたちが、阪神・淡路大震災とその後の不便な生活を思い起こして、全員の共同作業により、炊き出しを実施 ・炊き出しを通して、震災当時の大人たちの体験を子どもたちに語り継ぐ	2,430		自主	地域	983,938	491,000
34	神戸	被災者、市民、福祉、生活、法律、税金、健康 無料相談活動	ひょうご福祉ネットワーク	10	1	～	3	31	神戸市内事務所巡回	<復興ボランティア活動> ・事務所での無料電話相談と来所相談(月曜～金曜の午前中) ・無料巡回相談(第4土曜の午前中)と炊き出し配給活動 巡回相談は、弁護士、税理士、看護師、ケースワーカーの協力とボランティアスタッフで実施	212		自主	地域	684,310	208,000
35	神戸	ボランティア煌 防災事業	ボランティア煌	10	18	～	10	18	ピフルホール	<追悼イベント> ・トークショー「震災の体験を通じて得たもの」(わが家の防災対策のあり方について考える。) ・講話「震災時における取り組みと予防」(震災に直面した時の取り組みを通じて防災に対して興味をもつ。) ・防災に関する寸劇の実施 ・奄美の唄、踊り、三味線演奏	200		自主	地域	1,030,340	300,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
36	神戸	2009 KOBE イルミネーションバス運行	KOBEイルミネーションバス運行実行委員会	12	3	～	12	14	神戸市内の福祉施設	<追悼イベント> ・神戸ルミナリエの会場への来場が困難な方々にも、鎮魂と復興のシンボルであるルミナリエを見て、震災を思い起こし、防災意識を新たにしたいため、市バスにルミナリエを模した電飾を施し、神戸市内の福祉施設(29施設)等を訪問	2,000		共同	地域	283,367	125,000
37	神戸	日吉町5丁目住民による防災・災害に強い町づくり	日吉町5丁目町内会	12	22	～	12	24	日吉町5丁目ポケットパーク	<防災訓練> ・防災工具の総点検 ・町内連絡網の更新 ・パケツリレーによる消火訓練 ・災害を想定した炊き出し訓練	600		自主	地域	587,364	293,000
38	神戸	1.17の経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト	リメンバー神戸プロジェクト	10	1	～	2	8	ジュンク堂書店三宮店(センター街)4Fギャラリーほか	<震災写真展> ・震災の体験と教訓を伝承するため、「神戸の壁マップ」製作し、関係機関に配布 ・神戸の中心街のジュンク堂書店4Fギャラリーにて、震災の記録写真、神戸の壁保存活動から得た教訓、収集品等の資料の展示(1/16(土)～31(日)) ・神戸の壁跡地での1.17のつどい、神戸の壁本体の永久保存先である北淡震災記念公園での1.17の事業への参画(1/17(日))	3,000		自主	地域	291,729	143,000
39	神戸	第43回 みのりの祭典	みのりの祭典実行委員会	11	3	～	11	3	湊川公園	<震災記念イベント> ・炊き出しによる食糧供給や震災パネルの展示など震災時を振り返る内容を含めた秋祭りを開催 ・神戸の農漁業紹介コーナーなどを通して、農業関係者と消費者の交流を図り、農漁業の担う食糧の安定供給や自然環境保全などの多面的機能を紹介	42,000		共同	地域	6,264,170	1,000,000
40	神戸	生田川 秋の音楽祭09	生田川 秋の音楽祭実行委員会	10	18	～	10	18	生田川公園	<震災記念音楽祭> ・音楽とアートを通して震災を思い起こし、神戸の前向きな姿をアピールするイベントを開催 ・地震の経験を生かした応急救護講習会や震災の写真を展示したブースを設置 ・地域の交流を深め、ふれあうカラオケなどのブースを設置	700		自主	地域	1,530,000	742,000
41	神戸	阪神・淡路大震災から得られた技術教訓の伝承～造成宅地で何が起きたのか? 想定外の現象に対応するための仕組みの構築と課題～	(社)地盤工学会関西支部 兵庫県南部地震を後世に伝承するための研究委員会	11	27	～	11	27	神戸国際会館9階大会議室	<造成宅地シンポジウム> ・講演(地震による造成宅地の被害事例や災害軽減対策に関する特別講演(2題)) ・パネルディスカッション(阪神・淡路大震災などの過去の地震を通じて得られた造成宅地の減災に関する技術・教訓をそれぞれの立場から述べ、今後の地震による宅地災害の軽減を図る方策を討議)	105		自主	地域	253,495	100,000
42	神戸	応急作業用木材キットを使用した防災訓練	ひょうご契約俵仕会	10	1	～	12	30	三木山森林公園研修館ボランティア室外	<木材を使用した被災者救出訓練、建物倒壊防止訓練> ・応急作業用木材キットとボールやジャッキ、のこぎりなどを併せた使用方法の訓練(5回) ・被災者の拘束を安全に解除し、救出することや、倒壊の危険がある構造物へ突っぱりを実施して、安全な避難通路を確保することなど、高難度の訓練を実施。阪神・淡路大震災の被災現場で実際に住民が行い、あるいは道具と材料があれば対応できたと思われる危機的な事象の訓練も繰り返し実施し、その状況をHPや広報誌で発信	300		自主	地域	1,209,840	400,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
43	神戸	神戸大学犠牲者追悼コンサート	神戸大学ニュースネット委員会	10	1	～	1	13	神戸大学出光佐三記念六甲台講堂	<追悼コンサート> ・震災で犠牲になった神戸大学の学生を追悼するコンサートを遺族とその協力者と連携し実施。生前、犠牲者が遺族(母親)に送った手紙に曲をつけたものを音楽家が演奏 <震災パネル展> ・主に学生を対象とした震災パネルの展示(パネルは震災発生から現在までの神戸大学および地域の変化をたどったもの)	60		自主	地域	140,533	50,000
44	神戸	災害・緊急事案での電が台支え合いチームの活動支援事業	須磨区社会福祉協議会電ヶ台地区民生委員児童委員協議会	10	1	～	12	31	電が台小学校	<要援護者支援行動計画の作成> ・虚弱高齢者など要援護者の名簿や助け合いマップの作成・更新を行うとともに、要援護者への具体的な対応方法をワークショップ等を通じて議論し、要援護者支援行動計画を作成 <避難誘導訓練> ・上記の計画を踏まえた、地域の中学校と連携した避難誘導訓練を実施	300		自主	地域	330,550	165,000
45	神戸	効率的な災害シェルター基準づくりワークショップ	災害七日前プロジェクト実行委員会	10	21	～	1	31	JICA兵庫、なぎさ公園等	<災害シェルターワークショップ> ・被災直後から、十分な支援が届くとされる3日目までを自力で生き延びるための効率的な備蓄のあり方・基準を、実際の災害シェルターで生活し、非常用食糧の調理や避難体験を通して、議論するワークショップを開催。その結果を公表・提案 予定:12/16(水)JICA兵庫、1/30(土)、31(日)JICA兵庫、3/20(土)なぎさ公園	6,800		自主	地域	3,198,080	1,500,000
46	神戸	音のおもちゃ箱コンサート～心ほんわかライブ～	おもちゃ箱カンパニー	10	24	～	10	25	うはらホール(東灘区民センター大ホール)	<子ども向け震災ミュージカル・コンサート> ・震災を体験していない子ども向けに、「震災」について知ってもらうブチミュージカルを開催。ストーリー中で防災グッズを使い啓発 ・クラシック、シャンソン、ジャズ、ゴスペル等のコンサートを実施	450		自主	地域	2,609,329	1,251,000
47	神戸	いきいき防災ワークショップ	兵庫県いきいきネットワーク第7班	10	1	～	12	31	御影北地域福祉センター	<防災ワークショップ> ・震災ビデオの鑑賞 ・応急救命講習 ・兵庫耐震工学研究センターの見学	58		自主	地域	101,504	50,000
48	神戸	阪神・淡路大震災15年メモリアル書・華展	日本機関紙協会兵庫県本部	1	16	～	1	18	ギャラリー「Sea Space」	<震災記念書・華展> ・前衛書家・大林義典作の「書」と、神戸市立摩耶兵庫高校の生徒作の「華」によるコラボレーションで、絆・愛・平和を表現 ・震災から学んだ人と人のつながり(=絆)の大切さを「書」と「華」で表現し、コミュニティー構築の必要をアピール ・震災の写真やパネルを展示し、震災の被災者から当時のことを知らない若い世代に経験や教訓の伝承を図る。	300		自主	全県	890,800	395,000
49	神戸	第6回追悼コンサートのりのりとき「レクイエム・プロジェクトvol.2」	追悼コンサートいのりのりとき実行委員会	1	17	～	1	17	神戸文化ホール	<震災追悼コンサート> 被災地の中心である神戸市民を中心に合唱団のメンバーを構成しており、平成17年から毎年1月17日にコンサートを開催することにより、震災の被害者を追悼している。今年度は、上田 益(うえた すずむ)氏作曲による、追悼と未来への希望を歌う混成合唱曲「レクイエム」等により追悼を行う。	1,958		自主	全県	3,960,520	1,800,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
50	神戸	～未来へ～ あじさいコンサート	あじさいコンサート実行委員会	1	11	～	1	11	神戸文化ホール	<震災復興コンサート> ・神戸を中心とする団体による合唱・合奏であり、平成7年度から毎年「心の復興」をテーマに実施している。震災で得た「感謝の気持ち」を、震災以降に生まれた人など、新たな時代に継承していく。	2,794		共同	全県	1,787,580	577,000
51	神戸	阪神・淡路大震災15年メモリアル集会	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議	1	16	～	1	17	神戸市勤労会館大ホール及び多目的室	<被災地サミット> ・震災15年「被災者のあゆみ」(1/16(土)) ・各分野の被災者に15年を語ってもらい、これからの課題について考える。 ・第2回「被災地サミットin神戸」(1/17(日)) ・震災以後に発生した主な自然災害被災地の方を招き、暮らしの再建について被災地の今を語り交流し連携を深める。	320		自主	全県	1,445,527	722,000
52	神戸	1・17メモリアルコンサート竹下景子詩の朗読と音楽の夕べ及び震災復興日中台市民フォーラムと震災記念公園関連行事	復興支援コンサート実行委員会	1	10	～	1	17	神戸新聞松方ホール、神戸市立博物館、鷹取教会他	<震災追悼コンサート、朗読> ・震災体験を風化させず、継承するために、「夢・希望」等をテーマにした震災関連の全国公募詩を女優の竹下景子氏が詩が朗読、オリジナルの音楽演奏とともに1・17を語り継ぐ。	900		共同	全県	4,381,961	2,075,000
53	神戸	阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓 - 国際社会の防災をリードする若者たち -	「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓」実行委員会	1	23	～	1	24	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	<日中学生会議、パネル展> ・「『世界の笑顔のために』私たちができること」と題し、日中の若者が、地域が得た「震災経験」を他地域と次世代に「つなぐ」方法を考え、自分たちの役割を共に考える学生会議を開催。 ・1/23(土) プレ会議 1/24(日) パネルディスカッション等 ・パネル展「笑顔は世界共通のコミュニケーション」 1/17(日)～27(水)	620		共同	全県	5,661,310	2,500,000
54	神戸	阪神淡路大震災1・17メモリアルKOSMA主催 歌声よ！明日に向かって合唱フェスティバル	KOSMA	2	21	～	2	21	神戸市立東灘区民センターうはらホール	<震災記念合唱> 合唱を通して、震災経験者が経験のない者にその経験や知恵を伝えるとき、強い人間関係をつくることにより、災害に強い地域づくりを図る。 ・合唱団体20団体による発表 ・指揮者の指導による公開合唱練習 ・出演者が来場者と一体となり大合唱	579		自主	全県	1,821,390	903,000
55	神戸	いのちの「水」シンポジウム - 緊急時用水確保に関する検証 -	神戸大学都市安全研究センター	1	15	～	1	15	神戸国際会議場	<防災シンポジウム> ・災害時の用水確保の重要性を啓蒙することを目的として、緊急時用水確保に関する研究成果の発表とパネルディスカッションを実施	400		自主	全県	8,206,010	2,000,000
56	神戸	震災15年 いのちの鼓動 輝ける未来へ 第67回 こどものためのコンサート	特定非営利活動法人IMMC	1	31	～	1	31	北野工房のまち	<子ども向け震災追悼コンサート> ・講話「いのちの大切さ、支え合う地域社会づくり(仮称)」 ・こどものためのコンサート - 追悼・支え合う大切さ - ・震災当時の写真展示 ・「はるか(震災で亡くなった小学生)のひまわり」の種の配付	148		自主	全県	343,130	170,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
57	神戸	第1回世界災害看護学会	世界災害看護学会	1	9	～	1	10	神戸国際会議場	<災害看護に関する市民フォーラム> ・国際的に災害に関わる看護職や他の専門職、一般市民とが共に防災・減災にとりくめる共同体づくりについて語るパネルディスカッションや市民フォーラムを実施	412		自主	全県	26,291,965	2,000,000
58	神戸	震災とアスベストを考えるシンポジウム及びマスクプロジェクト	特定非営利活動法人 ひょうご労働安全衛生センター	1	16	～	1	17	神戸市勤労会館 他	<震災と石綿を考えるシンポジウム> ・基調講演 ・パネルディスカッション(震災時の石綿対策についての報告) ・アスベスト対策マスクの配布、マスクの効果を検証する実験ブースの設置 ・震災とアスベストの写真展	600		自主	全県	2,132,646	1,000,000
59	神戸	第23回市民フォーラム「予想される巨大地震に備えて」	特定非営利活動法人「人・家・街安全支援機構」	1	19	～	1	19	神戸国際会議場	<防災市民フォーラム> ・震災を教訓に、予想される巨大地震に備えて木造住宅の耐震化について、基調講演およびパネルディスカッションを実施することにより、災害への備えを啓発する。	176		自主	全県	2,014,323	550,000
60	神戸	兵庫県給食施設協議会報告書作成事業～どんな時でもあたたかい食事提供と支援に向けて～	兵庫県給食施設協議会	1	17	～	3	31	団体事務局	<給食施設の災害対策マニュアルの作成> ・災害等の緊急時において、給食施設が相互に食事提供等を支援する体制やシミュレーションによる実地訓練等の状況をまとめた活動報告書を作成し、県内外へ発信	配布数 1,153		自主	全県	544,180	272,000
61	神戸	一阪神・淡路大震災15周年記念ー追悼と未来への祈り	財団法人アルカディア音楽芸術振興財団	3	19	～	3	19	ホテルオークラ神戸チャペル	<震災追悼コンサート> ・質の高い音楽を通じて、被災地域の追悼、癒しと未来への活力を与える支援コンサートを開催する。 ・曲目：モーツァルト ミサ・プレヴィス 二長調 シューベルト アヴェ・マリア ・指揮者(黒岩英臣氏)、ソプラノ(寺本郁子氏)、オーケストラ(アルカディア室内管弦楽団)、プロデューズ(中村八千代氏)	280		自主	全県	2,546,240	1,000,000
62	神戸	災害時におけるレクリエーション活動の展開と地域安全確認	特定非営利活動法人 兵庫県レクリエーション協会	12	1	～	3	25	県民会館 他	<災害避難所向けレクリエーションメニューの作成> ・災害時の避難所や仮設住宅における相互の繋がり強化やストレス解消のためのメニューの作成 ・地域の安全確認のためのウォークラリー実施に向けた手引書の作成 ・成果物は、教育委員会やコミュニティセンター等の教育施設へ配布	配布数104		自主	全県	348,466	150,000
63	神戸	阪神・淡路大震災15周年フォーラム	日本地震工学会	1	18	～	1	18	神戸国際会議場(メインホール)	<防災フォーラム> ・阪神・淡路大震災以後、地震災害の軽減に関わる学協会が果たしてきた役割と残された課題等について、市民に語りかけるとともに、学協会の活動に対する市民からの要望を受け、市民と学協会の連携のあり方を特別講演とパネルディスカッションを通して探る。	600		自主	全県	2,981,562	1,453,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
64	神戸	国際シンポジウム「災害と情報・通信支援～スマトラと神戸から～」	世界コミュニティラジオ放送連盟 日本協議会	2	1	～	3	31	JICA兵庫 セミナー ホール	<国際シンポジウム> ・「災害救援と情報・コミュニケーション支援」をテーマとした国際シンポジウムを開催。 基調報告:エラント・ウィジヨノ氏 9月末のスマトラ地震の支援活動をしている国際NGO ・シンポジウムをインターネットで世界に同時中継(英語と日本語)するとともに、スマトラの被災地と結んで市民対話を行う。	133		自主	全県	827,570	410,000
65	神戸	震災から15年の多文化共生のまちづくりを世界へ伝える	震災15年、多文化共生のまちづくりを世界へ伝える会	12	1	～	3	31	コミュニティー ラジオ局 「FMわいわい」	<外国人コミュニティと復興に関するラジオ番組の制作・放送> ・震災で気付いた外国出身の住民の存在と、その多様性を活かした地域復興のプロセスを、世界に伝える。 ・「多文化共生社会と外国人コミュニティの力」(現代人文社2008)を英語翻訳し、関係団体へ配布((300部)。同内容のインターネット掲載。 ・「外国人コミュニティ(自助組織)」をテーマとしたラジオ番組の作成・放送。同番組のインターネット放送。	ラジオ放送		自主	全県	2,824,978	1,200,000
66	神戸	美容組合 防災シンポジウム等	兵庫県美容業生活衛生同業組合	12	8	～	3	29	神戸ポート ピアホテル 他	<防災シンポジウム> ・県内4箇所で開催シンポジウムを実施 ・美容組合広報誌で防災知識等を掲載し県内組合員(2,200店舗)へ配布	593		自主	全県	2,822,393	718,000
67	神戸	大震災15年の復興検証作業とその啓発活動	兵庫県震災復興研究センター	1	1	～	3	31	神戸松蔭 女子学院 大学他	<震災復興の検証> ・大震災以降14年半にわたる調査・研究活動と、節目・節目での9回にわたる検証作業の結果を踏まえ、15年の検証作業を実施し、結果を書籍にまとめ発信するとともに、シンポジウムなどを開催して啓発	配布数・参加者数 1,500		自主	全県	4,082,435	2,000,000
68	神戸	ED美映映家を外国人向けに多言語化編集し小冊子と共に配布 1.17に向けての県下各地における防災・減災訓練の実施	特定非営利活動法人 安心安全のまちづくり機構	1	1	～	3	31	加古川市 立志方小 学校他	<外国人向けの防災教材の作成、シンポジウム> ・県下在住の外国人向けの映像教材の多言語化と配布 ・E-ディフェンス映像教材による講習と可搬式体験型家具固定実験台を使った家具固定訓練の実施(小学校等での地域住民を対象とする) ・上記の総括として、シンポジウムを開催	配布数・参加者数 400		自主	全県	1,717,040	600,000
69	神戸	国際防災シンポジウム2010「防災まちづくり：APEC諸国の事例」	国際連合地域開発センター 国際防災シンポジウム実行委員会	1	17	～	1	20	よみうり神戸 ホール	<国際防災シンポジウム> ・まち、特に災害頻発地における人々の暮らしの周りにある家、地域の重要施設に焦点を当て、それらをどのように強くしていく事が出来るかを、都市化がいつ進むAPEC諸国(中国、インドネシア、ペルー、ネパール等)からの専門家・諸機関による公開シンポジウムを通じた、意識喚起及び経験の共有	450		共同	全県	9,587,898	4,500,000
70	神戸	市民公開講座「災害とこころのケア：アジア諸国の経験から」	日本トラウマティック・ストレス学会	3	6	～	3	6	神戸国際 会議場	<災害とこころのケアに関するセミナー> ・こころのケアを実践したアジア諸国の専門家を招き、それぞれの活動と課題を紹介。同時に、日本が行うべき支援や協力について討論。	657		自主	全県	3,109,023	1,500,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
71	神戸	ひょうご青年フォーラム	公益財団法人 兵庫県青少年本 部	2	28	～	2	28	こうべまち づくり会 館、元町商 店街	<被災地を元気づける方策を考えるフォーラム> ・被災地の人々を元気づけるための方策(子どもの居場所の確保、ふれあい交流等)の 検討や災害の教訓を生かした、すぐに役立つ実践活動のあり方についてのフォーラムを 実施	200		自主	全県	488,750	244,000
72	神戸	阪神淡路大震災15 周年記念事業 - 障害者支援づくりへ の課題-	特定非営利活動 法人 兵庫障害 者センター	1	16	～	1	16	あすてっぷ K O B E セ ミナー1	<震災時の障害者支援に関するシンポジウム> ・講演会「災害と障害者支援」 ・パネルディスカッション「大震災の教訓から学ぶ」災害時要援護者に対する支援体制へ の課題」 ・障害者のための防災グッズの展示	83		自主	全県	770,400	374,000
73	神戸	阪神淡路大震災15 周年記念、防災士 シンポジウム in K O B E	日本防災士会兵 庫県支部	1	31	～	1	31	兵庫県公 館	<防災シンポジウム> ・全国の防災士および一般の方の参加により、全国の被災地の報告を受けつつ震災の 教訓を全国に発信 ・基調講演:貝原俊民前兵庫県知事 ・パネルディスカッション:各被災地から5名予定 (神戸・豊岡・佐用・中越・岩手) ・コーディネーター:室崎益輝氏	465		自主	全県	1,560,243	650,000
74	神戸	国際復興フォーラム 2010「しなやかな 復興から持続的発 展へ」(仮称)	国際防災復興協 力セミナー実行 委員会	1	16	～	1	16	神戸ポート ピアホテル	<国際復興フォーラム> ・海外で発生した様々な災害や阪神・淡路大震災からの復興過程の教訓などについて国 際社会で共有するため、被災国政府関係者等を迎え、知見を交換 ・内容については、ストーリーミングによるインターネット配信や、アジア防メーリングリストによ り多くの県民に配信する。	参加者・報 告書配布 680		共同	全県	10,082,199	5,000,000
75	神戸	アジア防災会議	アジア防災会議 実行委員会	1	17	～	1	19	神戸ポート ピアホテル	<国際防災会議> ・アジア各国の防災責任者を招聘し、多国間防災協力に関する方針を決定する会議を開 催。 ・あわせて、宇宙技術の防災への利用について情報発信に係るパブリックフォーラムを 開催し、衛星画像の利用促進及び利用能力の開発促進等の議論を深め、一般への周 知を図る。 ・内容については、アジア防メーリングリストで多数の県民にも提供。	600		共同	全県	15,031,039	5,000,000
76	神戸	阪神・淡路大震災1 5周年記念事業 未 来に伝えたい～安 全・安心に暮らすた めに～(仮称)	震災15周年 未 来に伝えたい実 行委員会	1	15	～	1	17	デュオこう べ	<防災啓発イベント> ・学ぶ 防ぐ 守る 備える 伝えるの4つのキーワードをテーマに会場内を4つに分 け、テーマ別のブースを展開。 ・学ぶ:震災当時の写真1000枚の展示等 ・防ぐ:耐震化の相談コーナー、講演会等 ・守る 備える:親子レスキュー体験教室、応急処置演習等 ・伝える:次世代へのメッセージの募集・展示	10,000		自主	全県	2,951,595	1,462,000
77	神戸	Kiss Brilliant Days ～あの日を忘れない～	みなとこうべパ ワーアップ作戦 実行委員会	1	17	～	1	17	ハーバーラ ンド ス ペースシア ター	<震災記念イベント> ・震災15年目となる日に、震災の記憶・記録を風化させず、次世代に伝えていくため、入 場料無料の催しを実施 ・兵庫県出身のアーティストによるライブ(3～4組) ・震災に関するパネルディスカッション ・県立芸術文化センターでのレクイエム演奏風景のVTR上映 ・あしなが基金・神戸レインボーハウスへの募金活動	5,500		自主	全県	2,070,999	1,006,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
78	神戸	震災15周年メモリアル 太鼓衆団輪田鼓酒蔵公演 - 鎮魂と希望の太鼓 - 「龍ならばや雲にも乗らむ」	太鼓衆団輪田鼓	2	7	～	2	7	神戸酒心館ホール	<震災記念コンサート> ・和太鼓や民舞、しの笛、三味線、民謡などで神戸の復興をアピールし、犠牲者の鎮魂を願う音楽イベントを開催 ・震災をテーマにつくられた太鼓演奏「六甲風神」ほか10数曲を演奏することで、震災の教訓や経験を発信する。	278		自主	全県	1,602,658	685,000
79	神戸	阪神・淡路大震災の教訓発進事業～空港防災フェスティバル～	NPO法人イベントサポート兵庫	1	24	～	1	24	神戸空港ターミナル他	<防災啓発イベント> ・災害時に救援物資の輸送拠点となる空港で、防災学習を中心としたステージと神戸空港消防隊員による緊急時の対処方法等の紹介 ・ステージ(レスキューヒーローショー、AED、吹奏楽) ・空港消防署内の見学(特殊車両、救急備品など) ・防災学習クイズ、フェニックス共済の紹介	1,050		自主	全県	2,631,495	1,250,000
80	神戸	兵庫県理容組合防災シンポジウム	兵庫県理容生活衛生同業組合	1	18	～	1	18	ホテル北野プラザ六甲荘1F会議室	<防災シンポジウム> ・防災についての研修会の開催 ・理容組合広報誌に防災知識を掲載し、配布	150		自主	全県	433,358	153,000
81	神戸	震災の伝承を考える - 災害と祭り -	震災の伝承を考える会実行委員会	1	24	～	1	24	生田神社社会館	<震災の伝承について考えるフォーラム> ・震災を伝承するための様々な活動(ルミナリエ、1.17のつどい、人と防災未来センターでの語り継ぎ、中華街での活動)について、とりまとめを行うとともに、今後の震災伝承活動のあり方を議論。 震災を経験した人々の努力だけで震災の経験を伝えていくことには限界があり、語り継ぎに加えて、震災の経験を次世代に「自然」に伝承していく「仕組み」を構築する必要がある。	270		自主	全県	2,095,178	1,000,000
82	神戸	阪神・淡路大震災から15年 震災を知らない子どもたちへ今伝えたいこと	震災を知らない子どもたちへ今伝えたいこと実行委員会	1	16	～	1	17	神戸市総合児童センター(こべっこランド)	<防災啓発イベント> ・震災語り部 ・ボランティア体験(炊き出し訓練) ・青空児童館等心のケア再現(コンサート・手品等) ・児童健全育成事業(風船の海で遊ぶ・恐竜展) ・震災パネル展	4,562		共同	全県	2,333,596	1,100,000
83	神戸	災害を語り継ぐシンポジウム	災害を語り継ぐシンポジウム実行委員会	1	24	～	1	29	看護協会ハーモニーホール	<災害を語り継ぐシンポジウム> ・看護職向けシンポジウム「震災後の看護職の活動を語る」 ・一般向けシンポジウム「災害に備える」 ・災害支援ナースのための講習会 ・体験ブース(起震車による地震体験、災害時料理体験など) ・展示ブース	750		共同	全県	9,251,012	4,500,000
84	神戸	「阪神・淡路大震災犠牲動物慰霊祭」及び市民公開講座「動物と共に災害を乗り越える知恵」	大震災動物救護メモリアル協議会	2	7	～	2	7	神戸市立王子動物園 動物園ホール	<震災犠牲動物慰霊祭> ・阪神・淡路大震災で犠牲となった動物の慰霊祭を開催すると共に、阪神・淡路大震災における動物救護活動を振り返り、大規模災害における動物救護のあり方、備えの必要性についての認識を深める。	450		共同	全県	1,813,676	859,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
85	神戸	ひょうご・防災フェスタ	波止場音横丁実行委員会	2	27	～	2	27	垂水レバンテホール、レバンテ広場、垂水商店街	<防災シンポジウム> ・シンポジウム「環境防災「今と未来」」 ・環境防災パネルの展示 ・防災学習ショー、AED実演、炊き出し、地震体験車 ・ふれあいステージ(兵庫に縁のある音楽家等による演奏等) ・防災クイズスタンプラリー、防災グッズの展示	3,000		自主	全県	3,904,080	1,937,000
86	神戸	IGES国際シンポジウム「気候変動・地球環境と災害」	財団法人地球環境戦略研究機構(IGES)	1	15	～	1	15	よみうり神戸ホール	<国際シンポジウム> インドネシアの津波災害に関し、気象変動の面から視点を当てたシンポジウムを開催することで、地球温暖化や防災についての知識の伝承を行う。・基調講演「インド洋スマトラ沖地震の津波によるアチェ州における3R」インドネシア共和国環境省副大臣 ・基調講演「ツバル共和国における気候変動の影響および災害ポテンシャル」筑波大学教授	200		自主	全県	2,117,276	966,000
87	神戸	都市安全の高度化に関する国際シンポジウム	「都市安全の高度化に関する国際シンポジウム」実行委員会	3	27	～	3	29	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	<国際防災シンポジウム> ・日中両国ならびに台湾における地震防災の現状と将来展望をわかりやすく解説するための市民フォーラムを開催 ・基調講演「阪神・淡路大震災からの復興」林春男氏 「四川地震被害からの復旧過程」欧進萍氏 ほか ・パネルディスカッション 日中台に共通する地震防災の課題とは何か ほか	379		自主	全県	2,881,217	800,000
88	神戸	防災・社会貢献ディベート大会	第一回防災・社会貢献ディベート大会実行委員会	3	22	～	3	22	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	<防災・社会貢献ディベート大会> ・ディベート(午前:予選、午後:準決勝・決勝) ・講演会「市民レベルの防災意識の向上をめざして」 ・パネル展「若者の防災活動」 防災をテーマとしたディベート大会を通して、市民や学生の当事者としての防災意識を高めるとともに、市民や学生の防災に関するネットワークの構築に寄与	300		共同	全県	2,370,726	1,050,000
89	神戸	災害対応ロボットデックスシンポジウム・競基弘賞授賞式と記念講演	特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構	1	15	～	1	15	神戸国際会議場	<防災シンポジウム、授賞式> ・レスキューロボットやシステムの研究成果と今後の取り組みを発表することを目的としたシンポジウムを開催 ・レスキューロボットシステムの開発に顕著な貢献のあった若手研究者を表彰する「競基弘(きそい)もとひろ・震災で亡くなった神戸大大学院生」賞の授賞式、記念講演会をあわせて実施	110		自主	全県	1,204,970	500,000
90	神戸	震災の経験と教訓を伝えるラジオ番組の制作及び放送	げんきKOBE	1	10	～	3	28	げんきKOBE事務局・ラジオ関西	<ラジオによる防災啓発> ・防災・減災に寄与する団体の活動、震災を経験した人のインタビューなど震災の追体験や教訓を、AMラジオ(ラジオ関西)やインターネットで国内外へ発信 1～3月の毎日曜日放送(9分/回×12回)	ラジオ放送		自主	全県	860,419	314,000
91	神戸	震災モニュメントマップのCD化	特定非営利活動法人 阪神淡路大震災1.17希望の灯り	10	1	～	3	25	慰霊と復興のモニュメント・希望の灯り他各地慰霊碑	<震災モニュメントマップの更新・CD化> ・1999年に作成された震災モニュメントマップは、2002年以降更新できていない。158のモニュメントに未掲載の130のモニュメントを加えたマップCDを作成し、学校等に配布	配布数500		自主	全県	704,556	352,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
92	神戸	住まいの安心・快適展 in KOBE 2010	住まいの安心・快適展 in KOBE 2010 実行委員会	3	7	～	3	7	神戸ハーバーランドビルスペースシアター	<防災技術・製品展> ・住宅・住宅設備メーカーによる耐震・免震・制震、防犯、環境配慮型商品など各種ブースの出展 ・住まいの耐震に関する各種制度の紹介 ・耐震(防災)、防犯に関するセミナーの開催	3,000		共同	全県	6,195,000	3,045,000
93	神戸	兵庫県ボランティア協会 阪神・淡路大震災15周年記念事業	兵庫県ボランティア協会	1	19	～	1	19	ラッセホール	<災害ボランティアのつどい> ・震災時に被災された方々、ボランティア活動をした人たちが一同に会し、当時の思いや活動について基調講演、リレートークをしながら今後の安全、安心な社会作りに向けての取り組みを発信 ・記念講演「実践的危機管理とボランティア活動」 齋藤富雄 前兵庫県副知事 ・リレートーク「震災ボランティアといわれた人々を中心に」4人	150		自主	全県	1,428,194	714,000
94	神戸	震災から15年。我ら隣人。あの時の絆を次世代へ	震災から生まれた絆を伝える会 実行委員会	1	10	～	1	10	神戸新聞松方ホール	<震災記念シンポジウム> ・震災から15年。我ら隣人。あの時の絆を次世代へ」をテーマとして有識者等によるパネルディスカッション等を実施することで、震災の教訓や経験の世代を超えた伝承を図る。	700		自主	全県	4,932,384	2,000,000
95	神戸	1.17阪神淡路大震災遺児支援チャリティコンサート(第2回)	NPO法人 室内合奏団 THE STRINGS	1	17	～	1	17	神戸市立灘区民ホール マリーホール	<震災遺児支援チャリティコンサート> ・震災遺児を元気づけるとともに、収益の一部を遺児支援活動に寄付するため、チャリティコンサートを開催 ・前半の悲しみにひたる2曲で、来場者に震災を思い起こしてもらい、犠牲者を追悼。後半の明るい曲で、前向きに生きる力を感じてもらう。	195		自主	全県	1,172,014	450,000
96	神戸	神戸とニューオリンズの被災地復興地区交流事業	神戸とニューオリンズの被災地復興地区交流事業	1	16	～	1	16	神戸市国際会議場	<被災地交流事業> ・ニューオーリンズと神戸の地域コミュニティが復興の経験を相互に伝達し、さらにその経験を発信していく枠組みとして地域コミュニティ相互の覚書きを締結し、お互いの復興の経験・悩みを共有していく仕組みを構築。 今後、復興を経験する他の地域においても使い易い形式で、復興のプロセスや知恵が蓄積せれる。	100		自主	全県	2,634,759	1,000,000
97	神戸	世界災害語り継ぎフォーラム	世界災害語り継ぎサミット実行委員会	3	20	～	3	22	よみうり神戸ホール、国際協力機構兵庫国際センター	<国際防災フォーラム> ・鼎談「災害体験の語り継ぎを考える」 ・パネルディスカッション(世界各地のミュージアムのあり方を話し合う。) ・分科会(個別発表) 世界各地の災害の語り継ぎを聴き、見て、触れて、貴重な教訓や知恵を学び合い、意義を考える。	150		共同	全県	9,839,642	4,000,000
98	神戸	災害時対応ガイドブック作成事業	兵庫県難病団体連絡協議会	10	1	～	3	31	神戸市勤労会館、神戸難病相談室	<難病患者向け災害対応マニュアルの作成、シンポジウム> ・震災並びに災害時対応のマニュアルとなる、難病患者のための医療・福祉ガイドブックを作成 ・シンポジウムの開催 「災害・緊急事案に対応した難病患者マニュアルのあり方について」	配布数・参加者数 2,053		自主	全県	2,336,752	1,000,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
99	神戸	次代へ語り継ぐ 神戸・四川の経験を世界に...	次代へ、そして世界へ語り継ぐ実行委員会	3	8	～	3	8	神戸新聞 松方ホール	<防災シンポジウム> 震災の教訓が四川でどのように活かされたのかを検証し、次代と世界に発信。 ・四川大地震など四川の紹介ビデオ、震災紙芝居の上映 ・次代・世界に語り継ぐシンポジウム ・四川省出身の歌手alanのコンサート 新聞紙面で採録。Webサイト(日本語・英語・中国語)で全世界に情報発信。	400		共同	全県	11,425,814	5,000,000
100	神戸	あの日、須磨は！(メモリアルウォークと講演会)	特定非営利活動法人須磨歴史倶楽部	1	31	～	1	31	須磨区内 および須磨区民センター	<震災追悼ウォークと講演会> ・須磨区内の震災モニュメントを巡るウォーク等を実施することにより、震災の追体験を行う。 ・震災に関する講演 「震災から得た、今後の災害・減災対策」 佐々木利男氏(須磨区自治会連合会会長) 「須磨に眠る地震学者「関谷清景」」 小林善彦氏(NPO法人須磨歴史倶楽部会員)	220		自主	全県	436,000	218,000
101	神戸	アスタスチールパンコンサート2010	アスタ新長田スティールパン振興会	3	21	～	3	21	新長田ビブレホール	<震災記念コンサート> ・新長田の震災から現在までの推移写真を展示し、震災の被災地で活動するスティールオーケストラFantastics38名と、振興会が運営するスクールで学ぶ約70名の受講者によるスティールパンコンサートを開催することで、震災の教訓や経験を発信する。	400		自主	全県	925,505	400,000
102	神戸	ひょうご防災全国ラジオ会議	震災教訓発信ラジオ実行委員会	1	16	～	3	30	人と防災未来センターほか	<全国防災ラジオ会議> ・全国の著名なラジオパーソナリティやラジオ関係者を兵庫県に招き、震災関連施設等を案内することで、各パーソナリティによる持ち番組でのレポートの放送を行うことで、全国に震災の教訓や経験を発信する。	ラジオ放送		共同	全県	8,450,782	4,222,000
103	神戸	首都圏に発信～震災から15年ひょうごから伝えます～文化放送・ラジオ関西同時生放送	震災教訓発信ラジオ実行委員会	1	11	～	3	30	ラジオ関西	<ラジオによる防災啓発> ・首都圏をカバーする東京のラジオ局(文化放送)と近畿2府4県をカバーするラジオ関西の協力により、震災・防災・観光をテーマにした特別番組を放送(1/11(月祝)8:30～11:00予定)すると、全国に震災の経験や教訓を発信する。	ラジオ放送		共同	全県	12,911,095	5,000,000
104	神戸	兵庫県QQ体操キャラバン	みんな元気！QQ体操普及実行委員会	2	23	～	3	15	みのり保育園、あざひ保育園	<防災体操> ・救命救急の動きを取り入れたオリジナル体操「みんな元気！QQ体操」の普及活動を実施することで、子どもの頃から救命救急の行動様式を身につける(県内の幼稚園・保育園4箇所を訪問)	150		自主	全県	1,230,404	600,000
105	神戸	阪神淡路大震災15周年記念・アトリエ太陽の子・防災展覧会(仮)	アトリエ太陽の子	10	1	～	3	31	兵庫県立美術館・ギャラリー棟3回全室、及び回廊	<防災絵画展> ・「1.17を忘れないで。6,434本のヒマワリの花を咲かせましょう。」をテーマに、震災当時の話をしながら、子どもたちが、ヒマワリを描くプロジェクトを実施。 ・上記作品のほか、共同防災作品やボランティア活動報告について展示	2,300		自主	全県	4,492,770	2,000,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
106	神戸	「イザ！カエル大キャラバン！In HAT神戸」	「イザ！カエル大キャラバン！In HAT神戸実行委員会」	12	1	～	1	31	JICA兵庫、人と防災未来センター	<子ども向け防災啓発イベント> ・パケツリレーやジャッキアップなどゲーム感覚の防災訓練に参加し、ポイントを獲得するおもちゃ(防災グッズ)と交換することができる、子ども向け防災教育プログラムを実施し、若年層からの防災に関する行動様式のすり込みを行う。	1,750		自主	全県	3,919,375	1,959,000
107	神戸	阪神淡路大震災15周年被災者追悼式典行事テレビ番組・県内広域放送配信行事	兵庫県ケーブルテレビ広域連携協議会	1	17	～	2	28	兵庫県下CATV各局、(株)サンテレビジョン	<震災追悼行事テレビ放送> ・三宮東遊園地「追悼のつどい」(5:30～6:15)や兵庫県公館「追悼式典」(11:45～12:30)について、生中継(CATVは録画)で式典のすべてを放送することにより、すべての県民が式典に参加出来る環境を整える。	テレビ放送		共同	全県	6,510,000	3,255,000
108	神戸	KOBEの検証シリーズブックレット「災害ボランティア文化」出版報告会	震災がつなぐ全国ネットワーク	1	27	～	3	31	神戸市教育会館	<災害ボランティアに関するシンポジウム> ・阪神・淡路大震災とそれ以降の災害を教訓とした検証作業をまとめた小冊子(過去8編発行)の「災害ボランティア文化編」の出版に合わせ、市民への披露と、内容に関連するシンポジウムを実施 ・新刊「災害ボランティア文化編」の内容紹介 ・パネルディスカッション「阪神・淡路大震災15年と災害ボランティア」	配布数・参加者数240		自主	全県	955,286	477,000
109	神戸	「外国人と1.17メモリアルウォークで地震を考えよう」(仮)特別番組企画	震災15周年を外国人県民とともに考える実行委員会	1	17	～	1	17	ひょうご安全の日つどい会場	<外国人向け防災啓発ラジオ放送> ・外国人にメモリアルウォークへの参加を呼び掛け、外国人とDJがスタートからゴールまでラジオでレポート。 ・HAT神戸に特別ブースを設け、外国人向けのラジオ番組を放送することにより、忘れられがちな外国人県民の防災支援をおこなう。(各国の地震事情、地震で困った体験など)	ラジオ放送		共同	全県	5,084,086	2,541,000
110	神戸	在日外国人のための「地震がきた。そのときの備え」の啓蒙活動ツールの製作と啓蒙番組企画	震災15周年を外国人県民とともに考える実行委員会	12	1	～	3	31	団体事務局	<震災教訓本の翻訳・ラジオ放送> ・防災啓発著書「12歳からの被災者学～阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵～」(NHK出版)を英語・中国語・ポルトガル語に翻訳し、ナレーションをCD化(各500枚)。関係機関、外国人コミュニティに配布。 ・上記をラジオ用に編集し、1～3月に、英語版・中国語版・ポルトガル語版をそれぞれ毎週1回(5分程度)放送。	ラジオ放送		共同	全県	11,150,485	5,000,000
111	神戸	国際防災・人道支援フォーラム2010	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会	1	14	～	1	14	ポートピアホテル	<国際防災フォーラム> ・「兵庫行動枠組」の採択から5年、2010年からの国際的なキャンペーン活動「都市の減災」に資するよう、都市直下型地震災害の経験と教訓が蓄積された神戸からのメッセージ等を発信	300		共同	全県	5,977,747	2,000,000
112	神戸	災害メモリアルKOBE2010	災害メモリアルKOBE実行委員会	1	9	～	1	9	人と防災未来センター防災未来館1F	<防災シンポジウム> ・「次世代の育成」、「世代間交流に語り継ぎ」、「地域間交流」を行うことにより、市民の防災力を高めるとともに、その成果を普及することにより、防災意識及び防災力の高揚に貢献 ・震災当時の教師と教え子、看護師であった人と目指していた人の語りを聞いた子どもたちが、作文を書き発表 ・パネルディスカッション	300		共同	全県	2,766,000	1,383,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
113	神戸	第3回防災市民サミット&防災救命講習	特定非営利活動法人 健康まちづくり推進協会	1	17	～	3	13	神戸花鳥園、県立総合リハビリテーションセンター	<震災追悼イベント> ・震災語り部の講話と震災犠牲者の追悼式を行うことにより、震災の追体験を行う。	500		自主	全県	1,435,794	717,000
114	神戸	阪神・淡路大震災15周年記念フェニックス共済加入促進キャンペーン	財団法人 兵庫県住宅再建共済基金	1	1	～	3	31	団体事務局	<フェニックス共済制度のPR> ・本年の台風9号災害を踏まえ、広報物の印刷、新聞広告、各イベント会場での呼び掛けにより一層、共済制度への加入を働きかけることにより、今後の県民の備えを促進する。	配布部数 55,000		自主	全県	2,073,750	1,000,000
115	神戸	考・六甲山 新里山を市民と創造することが防災、減災に繋がる	六甲山活性化推進協議会	3	3	～	3	3	神戸新聞松方ホール	<六甲山と防災に関するフォーラム> ・六甲山の魅力を再認識し、21世紀の里山とすることが、防災や減災につながると思え、六甲山と防災に関するフォーラムを開催。 ・基調講演：園田学園名誉教授 田辺真人氏 ・フォーラム：田辺真人氏、矢田立郎神戸市長、玉岡かおる氏、石原憲一郎氏 ・防災啓発の展示、新聞による結果報告	600		自主	全県	3,846,982	1,673,000
116	神戸	被災地学生交流事業	被災地学生交流事業会	1	16	～	2	14	神戸大学六甲ホール、神戸国際会議場ほか神戸市内	<被災地サミット> ・巨大災害の被災地(中国、インドネシア、米国、台湾)から神戸に留学している大学生たちが、阪神・淡路大震災の被災者との交流を通じて、神戸の震災復興の経験・教訓を主体的に学び、それを母国へと伝承して災害復興へ生かす。 ・被災地サミット:1/16(土)(国際会議場) ・被災地学生サミット:2/14(日)(神戸大学六甲ホール) ・世界被災地学生サミット:3/22(月)(兵庫JICA事務所)	60		自主	全県	2,264,630	1,000,000
117	神戸	阪神・淡路大震災15年 追悼イベント	アートトラック愛好家団体 魁一家	3	21	～	3	21	ポートアイランド・ホームセンタームサシ跡地	<震災追悼イベント> ・震災パネルの展示 ・黙祷 ・合唱 ・子供向けお菓子撒き ・講話「震災の体験談」など	1,000		自主	全県	2,367,007	1,140,000
118	神戸	震災ストレスほっとライン	震災ストレスほっとライン	10	1	～	3	31	精療クリニック小林	<精神医療関連ボランティアに関する調査、報告会> ・1995年1月29日から428日間、電話相談、避難所・仮設住宅訪問等のボランティア活動に関わった精神医療関連専門家216人を対象に、大震災に関わった経験がその後の臨床活動にどのような影響をもたらしたかについてアンケート調査し、報告書を発行、報告会を開催	180		自主	全県	2,986,924	1,080,000
119	神戸	子どもの目線に立った防災学習の取り組み	社団法人兵庫県子ども会連絡会	1	11	～	3	31	兵庫県福祉センター他	<防災学習のあり方の検証と教材の作成> ・検討委員会を設置し、震災当時、子どもだった青年の意見などを踏まえ、防災学習のあり方を検証し、防災学習推進ノート(教材)を作成	配布数 1,000		自主	地域	259,862	125,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
120	神戸	寺子屋セミナー「阪神・淡路大震災後のボランティアを振り返る」	被災地NGO協働センター	2	25	～	3	22	被災地NGO協働センター会議室	<災害ボランティアに関するセミナー> ・震災以降、根付いてきた災害救援ボランティア活動に携わっている方の話を若者を中心に伝え、ともに考えていくセミナーを開催。 第1回「阪神・淡路から中越へ」 第2回「とちぎから中越、宮城へ」 第3回「どの子ども地域で生きていく」	31		自主	地域	235,630	117,000
121	神戸	阪神大震災復興15周年、学生たちの震災追悼茶会	特定非営利活動法人 いちごいちえ	3	20	～	3	20	有馬グランドホテル雅中庵	<震災追悼茶会> ・被災地の住民と大震災を経験していない学生による交流茶会を開催し、震災に関する記事・記録の配布、震災語り部による詩の朗読等で両者が同じ追体験し、その経験を伝承をすることにより、震災の経験や教訓の世代間の共有を図る。	70		自主	地域	768,280	375,000
122	神戸	平成21年度東山地区防災福祉コミュニティ総合防災訓練	東山地区防災福祉コミュニティ	2	21	～	2	21	新湊川ふれあい会館	<防災訓練> ・人員確認、資機材確認 ・要救護者等の救護訓練 ・地震・煙体験 ・三角巾による手当訓練 ・車椅子・担架による搬送訓練 ・バケツリレー訓練、消火器訓練、放水訓練 ・炊き出し訓練	300		自主	地域	216,901	105,000
123	神戸	阪神・淡路震災15周年追悼式	あわせの会	1	14	～	1	18	ポケットパーク	<震災追悼式典> ・震災犠牲者の追悼式典(1/15(金)、1/17(日)) ・新潟県旧山古志村等との交流(震災を風化させないように話合う)	250		自主	地域	802,992	401,000
124	神戸	天国に問う - 声一鎮魂のつどい	東方文化芸術団	1	17	～	1	17	神戸北野工房	<震災追悼イベント> ・震災の遺族による震災体験に関する講話や県立舞子高校学生による防災セミナー ・天国に歌声を伝えたい(音楽、舞踊、歌、黙祷、祈り 等)	350		自主	地域	483,730	141,000
125	神戸	ひよどり地域防災福祉コミュニティ阪神・淡路大震災15周年記念イベント資格習得講習会及び防災避難訓練	ひよどり地域防災福祉コミュニティ	1	24	～	1	24	ひよどり地域福祉センター	<防災訓練> 防災講習会(AEDを使用した心肺蘇生、けがの手当て)、避難訓練、救助訓練、応急処置訓練等からなる防災訓練を実施する	50		自主	地域	103,585	50,000
126	神戸	アンサンブル・神戸第10回特別講演	アンサンブル・神戸	1	30	～	1	30	神戸新聞松方ホール	<震災追悼コンサート> ・一般公募による混成合唱団と阪神間のプロ音楽家で構成されるオーケストラとでレクイエム等を演奏することにより、被害者の追悼を図る。	465		自主	地域	1,558,115	500,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
127	神戸	第2回 がんばろう 神戸&鹿児島フェス タ	周年記念事業実 行委員会	3	14	～	3	14	神戸国際 展示場2号 館	<震災追悼式典、シンポジウム> ・大震災では鹿児島出身者も多く被災したことから、震災映像の放映、献花等を通じて震 災を追体験し、今一度災害への備えを啓蒙するとともに、追悼集を作成、配布	1,600		共同	地域	9,282,042	2,835,000
128	神戸	第3回防災を考える 区民のつどい	防災を考える区 民のつどい実行 委員会	2	11	～	2	11	神戸市立 灘区民 ホール	<防災啓発イベント> ・「灘防災の賞」(対象:灘区の地域団体、事業所、個人)の表彰式 ・震災15周年防災講演会 ・地域住民・学生等による防災啓発小劇	300		共同	地域	917,690	458,000
129	神戸	写真展「予定されて いなかった瞬間(と き)」	創造集団 GRUMPY グラン ビー	3	13	～	3	22	兵庫県立 美術館	<震災写真展> ・震災時の写真の展示 震災から15年の時間が経過した今、長らく封印していた当時の写真を公開すること により、防災に対する想いを新たにすることを提供	650		自主	地域	4,048,698	2,000,000
130	神戸	「HAT神戸のあゆ み(記録パンフレッ ト)」の作成	HAT神戸中心街 区協議会	1	27	～	3	31	事務局	<震災復興記録誌の作成> ・HAT神戸は、震災で大きな被害を受けた市街地の住宅、産業の受け皿として生まれた 新しい街であるが、この成り立ちを知らない子供たちも多い。まち開きから10年を経過し たが、あゆみを記録したものがないため、記録パンフレット(5,000部)を作成し、関係者や 教育施設等に配布	発行数 10,000		共同	地域	391,650	195,000
131	神戸	阪神・淡路大震災 震災犠牲者追悼式 神戸三宮・祈り・そし て明日へ!	三宮センター街P R委員会	1	17	～	1	17	生田筋 (アートスク ウェア)	<震災追悼式典> ・大震災により、三宮センター街においても大規模な被害が生じたことから、1月17日 に、黙祷、献花、追悼コンサート、献血等からなる追悼式典を実施	400		自主	地域	580,000	290,000
132	神戸	震災は国を超えて 若者たちを結びつ けた ~和太鼓と チャンゴのコンサ ート~	特定非営利活動 法人兵庫県子ど も文化振興協会	2	11	～	2	11	神戸新聞 松方ホー ル	<震災記念コンサート> ・震災では外国人と地域住民とが助け合って復興してきた。震災当時、韓国から長田に 慰問に来た民族音楽団を、日本人と在日韓国人とが一緒に見られたことは大きな感動で あった。 ・震災当時を思い起こし、災害に強い街づくりをめざして、日本人と在日韓国人の若者で つくるグループによる、和太鼓とチャンゴ(韓国の太鼓)のコンサートを開催	315		自主	地域	1,369,578	646,000
133	神戸	「1.17を忘れない、 地域の絆の再生を 考える	特定非営利活動 法人 コミュニ ティサポートセン ター神戸	1	23	～	1	23	東灘区民 センター小 ホール	<震災追悼イベント> ・震災経験を伝えるとともに、震災経験者と震災を知らない新しい居住者とが繋がるき っかけの場となる追悼イベントを開催 ・震災映像の上映 ・防災学習のコーナー	300		自主	地域	268,429	110,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
134	神戸	～私たちは阪神・淡路大震災を忘れない～震災15周年記念音楽劇「魔法の靴」	震災15周年記念「魔法の靴」実行委員会	1	24	～	1	24	神戸文化ホール(中ホール)	<震災追悼ミュージカル> 震災10周年に実施した防災・減災ミュージカル「シンデレラと魔法の靴」を、震災15周年にあわせ音楽劇として再構成し公演することにより、震災の伝承を図る。 台本、曲、歌詞は、全て震災を語り継ぐために創作したもの	978		共同	地域	5,600,000	2,000,000
135	神戸	阪神・淡路大震災15周年記念 ふれあい炊き出し活動	社団法人 兵庫県宅地建物取引業協会神戸東支部	1	17	～	1	17	HAT神戸なぎさ公園	<防災啓発イベント> ・災害非常時を想定した炊き出し ・防災チェックリスト、ガイドブック等の配布	2,000		自主	地域	310,000	289,000
136	神戸	阪神・淡路大震災15周年記念事業「第8回 防災のつどい」	星陵台ふれあいまちづくり協議会	1	17	～	1	17	星陵台地域福祉センター	<震災追悼イベント> ・黙祷、献灯、献花 ・「語り部」による震災の恐怖伝承 ・安心・安全についての防災研修 ・炊き出し訓練	113		自主	地域	177,050	65,000
137	神戸	防災・減災まちづくり推進事業	垂水区ふれあいのまちづくり協議会	2	28	～	2	28	神戸市立垂水小学校	<防災訓練> 避難訓練、震災の教訓の語り継ぎ、安否確認訓練、緊急救命法の講習、炊き出し訓練等の防災訓練を実施する。	300		自主	地域	357,000	150,000
138	神戸	神戸市手をつなぐ育成会 震災15周年安全の日推進事業	社団法人 神戸市手をつなぐ育成会	3	2	～	3	15	育成会館	<防災シンポジウム> ・防災講演会「震災体験と防災及び避難対策」 ・起震車による地震体験 ・初期消火の体験 ・応急手当講習会 ・震災体験集を活用した「語り部」活動の実施 ・会報誌に防災特集を掲載することによる啓発	60		自主	地域	477,627	238,000
139	神戸	障害者対応炊き出し訓練	いちばで元気運営委員会	1	30	～	1	30	アグロガーデン駒ヶ林店イベント広場	<災害を想定した炊き出し> ・災害時、障害者に必要な支援とは何かを支援者及び地域住民が知るために、障害者と支援者が共同で炊き出し訓練を実施	150		自主	地域	321,239	150,000
140	神戸	1.17KOBEに灯りをinながた	1.17KOBEに灯りをinながた実行委員会	1	17	～	1	17	新長田駅前広場	<震災追悼イベント> ・「1.17ながた」の形にペットボトルを並べ、その中のろうそくに点灯 ろうそくは近隣の保育所等で作成 ・鎮魂ライブ ・炊き出し ・FMわいわいでの放送 ・募金	5,000		自主	地域	904,605	400,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
141	神戸	星和台・鳴子「とんどまつり」と「安全・安心のつどい」	星和台鳴子防災福祉コミュニティ	1	16	～	1	16	神戸市立星和台小学校	<防災啓発イベント> ・地震体験車による地震体験 ・消火放水体験 ・消防はしご車への体験乗車 ・消火器・バケツリレーによる消火訓練 ・救助・救出、担架搬送訓練 ・炊き出し訓練、もちつき	600		自主	地域	215,676	107,000
142	神戸	防災世界子ども会議フォーラム2010	防災世界子ども会議実行委員会	1	24	～	1	24	人と防災未来センター	<防災世界子ども会議> ・「気候変動と、私たちの住む街の防災・減災」をテーマとした、高校生主体のフォーラムを開催。 ・「防災世界子ども会議2010inトルコ」に向けて、プロジェクトに参加の世界の子どもたちと共に、インターネットテレビ会議を活用して、防災協働学習の経過を共有。	100		自主	地域	1,461,902	650,000
143	神戸	震災から15年、神戸を想う展(中期)	BBプラザ「震災から15年、神戸を想う展」実行委員会	1	13	～	2	14	BBプラザ美術館及びBBプラザ内通路	<震災絵画・写真展> ・震災を描いた作家として有名な吉見敬治氏の「鎮魂の画譜」(約30点)の展示会及び震災写真展(19点)を開催(1/13～2/14)することにより、震災の追体験を行う。	4,000		自主	地域	2,296,328	1,128,000
144	神戸	過去に学び、未来を見つめ、人・まちを守る。	真野地区まちづくり推進会	1	16	～	1	17	真野地区福祉センター、南尻池公園	<防災シンポジウム、防災訓練、鎮魂のつどい> ・防災マニュアルやハザードマップに関するシンポジウムの開催 ・写真を用いた定点観測による復興検証 ・防災訓練(弱者避難誘導、避難所開設・運営、炊き出し) ・鎮魂のつどい	1,000		自主	地域	4,056,874	1,850,000
145	神戸	500人のゴスペルコンサート～震災から15年～	500人のゴスペルコンサート実行委員会	1	17	～	1	17	兵庫県立文化体育館	<震災追悼コンサート> ・震災犠牲者の鎮魂のための県民参加型ゴスペルコンサートを開催し、震災の被災者から一般参加者に震災の経験や教訓の伝承を図る。	1,717		自主	地域	1,819,480	903,000
146	神戸	阪神・淡路大震災15周年メモリアル15コンサート「あのときの、やさしさを忘れない」	神戸青年合唱団	2	6	～	2	6	神戸市立垂水勤労市民センターレバンテホール	<震災記念コンサート> ・震災10周年を記念し創作した合唱組曲「いのち」全7章のうち、「さくら草」「炊き出し」「けん玉」「いのちを生きる」を合唱し、命の大切さ等震災の経験や教訓の伝承を図る。 ・詩の朗読、津軽三味線、マリンバ演奏	150		自主	地域	765,770	382,000
147	神戸	神戸学院大学 阪神・淡路大震災15周年記念事業 追悼式	神戸学院大学	1	24	～	1	24	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	<震災追悼式典> ・震災で亡くなった神戸学院大学の職員や留学生、地域の方々を偲ぶ献花行事を開催	300		自主	地域	758,625	300,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
148	神戸	被災地市民交流事業 日本-台湾 ペーパードームの記憶	被災地市民交流事業実行委員会	12	1	～	3	31	たかとり教会 紙教堂	<被災地交流会> ・たかとり協会に震災復興の地域拠点として建設されたペーパードームが10年の歳月の後、その役目を終え、2008年9月に台湾で再生。 ・これを記念して、作製したプレートの設置にあたり、日本と台湾で記念式典を開催するとともに、記念誌を作成。	73人 1,000部		自主	地域	1,725,700	862,000
149	神戸	震災をこえて 15年目のコンサート	創作ぐるーぷ965の会	3	19	～	3	19	ビフレホール	<震災記念コンサート> ・歌と演奏、詩の朗読で、15年前、震災から立ち上がった時の想いを伝えとともに、亡くなった方への鎮魂のメッセージとする。	185		自主	地域	838,863	400,000
150	神戸	災害弱者も一緒に防災運動会	若松防災福祉コミュニティ	1	17	～	1	17	神戸市立 だいち小学校	<防災訓練> ・水消火器リレー(外国語を使用) ・炊き出し訓練(外国人の母国料理の炊き出しを含む) ・競技形式で楽しみながら防災技術を習得。 ・災害弱者も参加し、健常者も疑似体験(妊婦体験スーツ等)することにより相互理解。長田区人口の8.7%を占める外国人の参加を促す。	1,600		自主	地域	554,584	223,000
151	神戸	つどい1.17	神戸・市民交流会	1	17	～	1	17	東遊園地	<震災追悼イベント> ・竹灯籠で「1.17」の文字を描き、参加者にろうそくに火をとってもらうとともに、早朝5時46分と夕刻17時46分の2回、震災犠牲者に対して黙祷	66,000		自主	地域	927,821	400,000
152	神戸	阪神淡路大震災1.17のつどい15周年記念事業	阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会	1	17	～	1	17	東遊園地・ こうべ市民福祉交流センター・ 市役所等	<震災記念イベント> ・神戸市三宮の東遊園地において災害ボランティア交流会を開催 ・各ボランティア団体が被災体験、支援活動体験を発表(50組程度) ・参加者に震災から15年目の思いをメッセージボードに記載してもらい、防災意識を新たにしていただく。 ・震災当時の状況を示したプレートの展示	66,000		共同	地域	2,252,295	1,126,000
153	神戸	阪神・淡路大震災鎮魂のつどい	特定非営利活動法人 サポートステーション灘・つどいの家	1	15	～	1	17	サポートステーション灘・つどいの家	<鎮魂のつどい> ・講話「震災体験者を交えて、防災について」 ・故人の冥福セレモニー、音楽会、炊き出し、メモリアルウォークへの参加とうにより、震災の追体験を行う。	185		自主	地域	301,385	150,000
154	神戸	園児による「幸せ運べるように」の歌と黄色いリボン配布	特定非営利活動法人こぐまくらぶ	1	17	～	1	17	こぐまプリスクール内とJR新長田駅前	<震災継承イベント> ・園児たちに震災の話をして、大きな被害があったことを伝える。 ・黙祷 ・新長田駅前で、「幸せ運べるように」を合唱 ・園児たちの手作りの黄色いリボンを通行人に配布	50		自主	地域	148,875	59,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
155	神戸	シンサイミライノハナPROJECT	シンサイミライノハナPROJECT実行委員会	11	18	～	3	22	神戸市内各所	<震災継承プロジェクト> ・“ワタシにとっての震災とは”というテーマで、一般に広くメッセージを募集し、そのメッセージカード(花びら形)で花にみたく飾りを作成し、三宮駅～東遊園地、センター街、デパート(1/15～17)、神戸震災復興記念公園(1/17)、県立美術館(1/17～31)に設置 ・震災を体験していない人や若い世代に震災について向き合う“きっかけ”をつくる。	34,000		自主	地域	2,003,968	1,000,000
156	神戸	記念コンサート「愛をのせて」	Dreaming Club KOBE	3	31	～	3	31	神戸新聞松方ホール	<震災記念コンサート> ・記念コンサート ・障害者音楽グループのハンドベル演奏、女声コーラス、シャンソン(島田恵美子とドリミングクラブ会員) ・震災時と15年後の街の様子を写真パネルとして会場に掲示 ・防災チェック冊子を参加者全員に配布	550		自主	地域	4,027,983	2,000,000
157	神戸	文化復興コンサート「祈り・夢・未来～文化復興・神戸からの願い」	多文化と共生社会を育むワークショップ	1	9	～	1	9	兵庫県立美術館	<震災記念コンサート> ・神戸出身、震災経験者の音楽家たちにより、震災からの文化復興をテーマとしたコンサートを開催することにより、あの日を思い起こすきっかけをつくる。	200		自主	地域	392,810	196,000
158	神戸	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命」	兵庫県立舞子高等学校「1.17震災メモリアル行事」実行委員会	1	15	～	1	16	県立舞子高等学校	<震災記念イベント> ・震災を体験した著名人による講演 1/15(金) ・地域の4つの防災福祉コミュニティ、消防署、自衛隊、ライフライン関係企業、災害支援NPO、舞子高校環境防災科などがブースを出展し、災害体験と防災教育について語る。1/16(土) ・小学生を対象としたクイズラリーを実施 1/16(土)	2,000		共同	地域	1,269,717	441,000
159	阪神南	「心にのこる日本の歌101選」を歌うフェニックス倶楽部コンサートVol.5	フェニックス倶楽部	10	28	～	10	28	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院ホール	<追悼コンサート> ・震災をテーマとしたパネルや写真の展示 ・防災グッズの展示 ・黙祷、合唱、ハーブ演奏	461		自主	全県	940,522	330,000
160	阪神南	阪神淡路大震災の子ども達への継承事業	社会福祉法人のぞみ会	10	1	～	3	31	浜風の家	<追悼イベント> ・震災写真の展示、震災の体験談、講演(命の尊さ)(12月) ・震災メモリアルと避難訓練、野外炊事訓練、応急処置訓練、地震体験(起震車)(1月) ・追悼音楽会・演劇会、震災絵画展(2月)	2,396		自主	地域	496,657	248,000
161	阪神南	阪神・淡路大震災15周年記念震災アニメ上映&記念歌謡コンサート	特定非営利活動法人 コンソレーション・ネットワーク	12	6	～	12	6	西宮フレンテホール	<震災アニメ上映会> ・震災アニメ「地球が動いた日」を上映 ・市民一般参加のコンサート(歌、ジャズダンス、新舞踊など)を実施 ・震災当時を振り返り、炊き出しを実施	300		自主	地域	1,286,559	600,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
162	阪神南	芦屋ハイタウン新生10周年記念誌の編集・発刊	芦屋ハイタウン自治会	10	1	～	1	31	芦屋ハイタウン	<復興記録誌の作成> ・芦屋ハイタウン新生10年のあゆみ「阪神淡路大震災罹災後、建物解体、再建復興、新生コミュニティ形成」にいたる発展過程の記録を、歴史的に収録し、各戸及び対外関係先に配布	354部		自主	地域	1,145,340	425,000
163	阪神南	この街で生きる - 震災15年祈念事業	特定非営利活動法人 はらっば	10	1	～	3	31	特定非営利活動法人 はらっば	<追悼イベント> ・震災を思い起こし、防災意識を新たにするため、餅つき、炊き出し、非常食の試食を実施 ・子どもたち中心の避難訓練、人と防災未来センターへの遠足、「子どもへの暴力防止プログラム」、心肺蘇生訓練の実施	481		自主	地域	709,566	330,000
164	阪神南	浜脇校区子ども会震災記録集発行事業	浜脇校区子ども会連絡協議会	10	1	～	3	31	西宮市立浜脇小学校・中学校、西宮市立浜脇公民館	<震災対応記録集の作成> ・震災直後の地区子ども会が果たした役割とその具体的な活動の記録集500部の作成 ・作成のための作業と催し ・「被災地児童招待キャンプ」でお世話になった方へのアンケート、座談会	2,000		自主	地域	836,609	370,000
165	阪神南	家具転倒防止の啓発及び、家具転倒防止器具の取り付け	社団法人 尼崎市シルバー人材センター	10	1	～	12	31	阪神尼崎駅前、各家庭	<家具転倒防止の啓発> ・家具転倒防止に関するチラシの作成 ・作業会員によるチラシの配布 ・一般家庭においての、作業会員による家具転倒防止器具の取り付け	500		自主	地域	1,103,080	500,000
166	阪神南	地域の外国人住民の災害学習「知っておこう、暮らしの安心2009」	こくさいひろば芦屋	10	11	～	3	28	芦屋市立潮見小学校、芦屋浜地区センター会議室ほか	<外国人向け防災啓発イベント> ・外国人による講話「震災体験」「母国の震災・救援活動等」 ・外国人の子ども達による防災に関する発表 ・応急救護講習 ・家具転倒防止グッズの展示・講習 ・親子ウォークラリー、多言語による地域表示の作成(避難所など) ・防災カレンダー作成、炊き出し、地域交流イベント など	750		自主	地域	428,989	214,000
167	阪神南	台所の防災と韓国料理教室の震災後の歩み	芦屋韓国朝鮮料理教室	10	1	～	3	11	神戸華僑歴史博物館、神戸市立勤労市民センター	<主婦向け防災啓発イベント> ・応急措置講習会 ・防災学習(震災グッズ、震災情報など) ・講話「韓国での震災事情」 ・震災グッズ紹介 ・炊き出し(韓国での炊き出し) ・人と防災未来センター等の見学	215		自主	地域	1,470,615	450,000
168	阪神南	震災復興・開港15周年記念 西宮浜マリンフェスタ2009	西宮マリンフェスタ実行委員会	10	18	～	10	18	新西宮ヨットハーバー	<追悼イベント> ・震災復興・開港15年の歩みパネル展 ・地域復興の歩みの開設コーナー ・海の絵画展、西宮浜写真展(震災から15年) ・新西宮ヨットハーバー開港15周年記念オープンヨットレース ・ステージイベント(地域交流、ジャズ・吹奏楽演奏他) ・防災活動資料展示、救命救急活動展示、献血(予定)	10,000		自主	地域	2,511,653	1,159,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
169	阪神南	ふれあい芦屋マダン 2010 - 安心・安全・共生のまちづくり -	ふれあい芦屋マダン	2	26	～	3	28	芦屋市立精道小学校 <防災啓発イベント> ・震災での教訓を踏まえた、地域の外国人、障害者、高齢者とのふれあい、交流イベントを開催 ・震災パネル、防災グッズ、消防車、救急車等の展示による防災啓発 ・本団体の活動記録ビデオ・写真を編集し、DVDで保存	2,000		自主	全県	4,563,112	1,617,000	
170	阪神南	中高生の避難所体験	高校生連絡会議HLC	12	12	～	3	28	尼崎市立北難波小学校、さよう文化情報センター <避難所体験> ・中高生が小学校体育館で1泊する避難所体験、AED講習、炊き出しの実施 ・水害を経験した佐用町の人たちの教訓の映像化 ・佐用町の人たちを励ます会 ・学習発表会による地域住民への成果発表	1,500		自主	全県	1,753,315	785,000	
171	阪神南	阪神・淡路大震災15周年記念事業 第一部:「シンポジウム」 第二部:「哀悼と国際平和の祈りコンサート」	特定非営利活動法人国際教育文化交流協会	1	24	～	1	24	兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール <国際防災シンポジウム> ・第1部「若者の視点から国内外の大災害への貢献を考える～阪神・淡路大震災、インド洋地震津波被害、四川省地震での救護経験を踏まえて～」 ・第2部「日本学生・留学生・OBOGの協働企画による平和コンサート」	707		自主	全県	3,261,483	1,630,000	
172	阪神南	関西学院大学災害復興制度研究所5年フォーラム「阪神・淡路大震災がこの国に遺したもの～人間復興の旗は立ったのか」	関西学院大学災害復興制度研究所	1	9	～	1	11	神戸国際会館、関西学院会館、関西学院大学 <震災復興フォーラム> ・震災復興フォーラム(特別講演、パネルディスカッション)(1/9(土)神戸国際会館)、全国被災地交流集会(1/10(日)関西学院会館) ・研究発表会(1/11(月)関西学院大学)を行うことで、震災の教訓や経験を共有する。	300		自主	全県	2,684,860	1,072,000	
173	阪神南	鎮魂の祈りとかまくら	尼崎琴の浦ライオンズクラブ	1	16	～	1	18	橘公園 <鎮魂行事> ・香美町から雪の提供を受け、横手市から職人を招きかまくらを造り、内部に祭壇を儲け祈りを捧げる。 ・周りに小学生によるミニかまくらを造り、16日午後5時46分と17日午後5時46分に明かりをともし霊を慰める。	3,500		自主	全県	1,028,191	473,000	
174	阪神南	震災15周年復興祈念コンサート	尼崎琴の浦ライオンズクラブ	1	10	～	1	10	アルカイックホール <復興祈念コンサート> 震災15周年を機に、聴力障害児の和太鼓、少女バレエ、コーラスグループの歌唱、小・中・高校生の吹奏楽、陸上自衛隊の演奏 等により、震災からの復興を共有し、震災を思い起こす事業を実施する。	1,000		自主	全県	841,317	300,000	
175	阪神南	1.17を忘れない～ナルク兵庫拠点連携2事業	ナルク兵庫拠点連携事業推進委員会	3	12	～	3	12	フレンテホール(フレンテ西宮5階) <震災教訓冊子の作成、フォーラム> ・震災の教訓やボランティア活動の記録をとりまとめた冊子の作成 ・震災の経験と教訓を伝えるフォーラムの開催	81人 冊子発行 600		自主	全県	1,497,104	702,000	

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
176	阪神南	子ども防災ワーク ショップ2009 in HYOGO	特定非営利活動 法人さくらネット	1	4	～	3	31	JICA兵庫、他	<子ども防災ワークショップ> ・防災を知る啓発映像の上映 ・巨大映像防災クイズの実施 ・防災に関する「すごろく型等身大ゲーム」の実施 ・災害時お役立ちブースの設置 ・教訓メッセージ集の発行	300		自主	全県	779,643	389,000
177	阪神南	震災15周年と遊び 場づくり10周年事業	にしのみや遊び 場つくり会	1	4	～	3	31	国有地ブ レーパ ーク、浜脇公 民館、戸田 町憩いの 家	<防災啓発イベント> ・啓発誌づくり(子ども・大人の居場所づくり、地域のネットワークづくりを啓発する冊子を作成。地域のネットワークづくりは防災にも役立つ。) ・連続プレーパーク(防災公園探検など)、リレートーク(子ども目線の防災などについて専門家と考える) 4日連続 ・連続昼飯つくり会(昼食づくりで地域の連携を深める)	400		自主	全県	725,969	300,000
178	阪神南	子ども防災イベント (兵庫県広域防災セ ンター)	特定非営利活動 法人プレーン ヒューマンティ ー	2	27	～	2	27	兵庫県広 域防災セ ンター	<子ども向け防災啓発イベント> ・講義「学ぼう！地震の怖さとその仕組み(仮称)」 ・起震車による地震体験 ・煙避難訓練 ・新聞作り	78		自主	全県	255,204	111,000
179	阪神南	阪神・淡路大震災 15周年 三条コミスク 地域自主防災総合 訓練	三条コミュニテ ィ・ スクール	2	11	～	2	11	芦屋 山手 夢保育園 前面道路	<防災訓練> ・今後30年以内に50%の確率で発生するといわれる南海地震に備え、自分たちの身は自分たちで守るという意識の啓発や、救助・救援訓練を含む総合的な防災訓練を実施	800		自主	地域	3,741,121	187,000
180	阪神南	DVD「阪神間地区 の文化の復権への 問題提起」制作と公 開	特定非営利活動 法人潤	1	17	～	3	30	岡本好文 園コミュニ ティホール ほか	<震災記念DVDの作成> ・震災で倒壊した谷崎潤一郎旧邸の、復元運動の記録と反省をまとめたDVDを作成し、公開することで、耐震化促進の契機を作る。	配布数 1,000		自主	地域	3,867,054	1,500,000
181	阪神南	鳴尾東地域防災の 日事業 震災15年 「1・17忘れないで」	西宮市鳴尾東コ ミュニティ協議会	1	11	～	1	11	西宮市立 鳴尾東小 学校運動 場他	<震災追悼イベント> ・西宮市での犠牲者人数分の燭台設置(被害の大きさの視認可) ・献花、震災体験講演、震災記録映画上映、震災写真パネル展 ・避難訓練、炊き出し、消防車等展示、防災マップ配布 ・子ども防災ポスターの展示	900		自主	地域	1,330,008	456,000
182	阪神南	阪神淡路大震災15 周年追悼記念事業 (追悼の語りとハー プ演奏・記念誌発 行)	人生80年時代を 模索する会	2	13	～	2	13	西宮市 大谷記念 美術館	<震災追悼イベント> ・ハープ演奏と朗読で震災の追悼を行う。 ・震災時の状況と15年間の復興状況を、会員と市民の目線でまとめ、記念誌を発行	120		自主	地域	353,986	150,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
183	阪神南	第4回 震災を忘れないメモリアルコンサート	特定非営利活動法人ええうた工房	3	21	～	3	21	尼崎市立労働福祉会館	<震災追悼コンサート> ・モーツァルトの「戴冠(たいかん)ミサ」で鎮魂の祈りを表し、合唱することで、地域の追悼を図る。	150		自主	地域	1,376,060	687,000
184	阪神南	あの頃と今を語り合う会 in 西宮	特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク	1	17	～	1	17	西宮市役所東館	<震災を語り合うフォーラム> ・市民が震災当時と現在に至るまでを語り合える集会の開催 ・他の被災地域(新潟県や佐用町など)の方々にも参加していただき、震災の教訓を伝え、交流することで、震災の経験や教訓の共有を図る。	47		自主	地域	279,674	116,000
185	阪神南	復興住宅と地域をつなぐ 第6回笑顔ふれあいまつり	地域を結び笑顔の会	1	10	～	1	10	尼崎市立小田公民館	<震災記念イベント> ・震災の教訓を伝える劇の上演 ・復興住宅の現状について取り扱う展示 ・各種出し物、啓発ビラ等の配布	160		自主	地域	209,014	103,000
186	阪神南	阪神淡路大震災15周年記念 第15回 越木岩防災の日	越木岩自主防災会	1	23	～	1	23	西宮市立北夙川小学校 他	<防災訓練> ・防災訓練(避難訓練、救出訓練、救護訓練、消化訓練、炊出訓練) ・体験コーナー(はしご車搭乗、ミニ消防車、煙体験ドーム等) ・展示(防災授業作品など) ・講演会2回(1/19～22日)	2,500		自主	地域	1,070,087	500,000
187	阪神南	西大島地区防災訓練	西大島社会福祉連絡協議会	1	30	～	3	27	尼崎西高等学校体育館、成文小学校体育館、西大島会館ほか	<防災訓練> ・避難訓練、消火訓練 ・高齢者避難訓練(車イスによる避難訓練) ・講話(尼崎市西消防署) ・起震車による地震体験 ・応急救護講習会 ・親子ウォークラリー(避難場所・危険箇所の確認)、炊き出し	731		自主	地域	583,197	291,000
188	阪神南	大震災を風化させない!	あしやまつり連絡協議会	1	1	～	3	31	各町集会所(会館)	<震災記念イベント> ・大震災当時の体験談を聞き出せるような講習会の開催 ・炊き出しによる震災の追体験	3,500		自主	地域	4,366,140	2,000,000
189	阪神南	大庄地域の安心・安全 防災講演会	大庄地区市民運動推進協議会	3	3	～	3	3	大庄地区会館	<防災講演会> ・平成18年度から毎年、地域団体の代表者を集め、安心・安全ワークショップを開催し、防災について考えてきた。震災15年の節目にあたり、「大庄地域の安心と安全」をテーマとした防災講演会を開催する。	150		自主	地域	128,808	64,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
190	阪神南	「わがまち香櫨園のあのひ・あのとき」	香櫨園地区団体連絡協議会	1	6	～	3	30	西宮市立市民ギャラリー他	<防災啓発イベント> ・前期 「阪神大震災から学ぶ」(1/6(水)～10(日)) 記録写真展、防災グッズの展示、応急救護講習 ・後期 「誰もがいつかは災害弱者」(3/20(土)) 防災講演会(テーマ:災害時要援護者を支援するには)	1,094		自主	地域	159,222	79,000
191	阪神南	防災安全対策啓発事業	社団法人芦屋市シルバー人材センター	2	15	～	3	31	芦屋市内全戸	<防災啓発広報> ・一般住宅への防災安全対策支援の一環として、家具転倒防止器具及び火災警報器の設置促進に向けた啓発情報誌を作成し芦屋市内の全世帯に配布	配布数 43,000		自主	地域	508,538	254,000
192	阪神南	「追悼の想い」阪神淡路大震災から15年目を迎えて	「追悼の想い」実行委員会	1	15	～	1	15	西宮市プラホール	<震災追悼コンサート> ・被災者の方々からの講義や震災追悼に関する三味線談義 ・ピアノ独奏、震災追悼詩の朗読、観客を含めた合唱・追悼コンサートを実施する。	247		自主	地域	2,898,529	1,417,000
193	阪神南	甲子園口地区・次代に引き継ぐ震災の記憶、復興のとりくみ	甲子園口地区まちづくり協議会	1	4	～	3	31	上甲子園小学校 他	<震災復興記録誌の作成・写真展> ・震災復興を機に発足したまちづくり協議会活動記録誌の作成 ・震災写真展の開催 ・防災訓練(消火訓練、簡易担架づくり、非常食の試食)の実施	2,000		自主	地域	936,000	468,000
194	阪神南	阪神・淡路大震災1・17追悼メモリアル	特定非営利活動法人たまり場	12	27	～	1	10	薬師町グループホーム、県民交流広場	<追悼イベント> ・1・17追悼モニュメントを囲んでの献花、餅つき、綿菓子、地場野菜の提供と販売することで、震災の追体験を行う。	600		自主	地域	156,182	75,000
195	阪神南	子ども防災キャンプ2010	特定非営利活動法人ブレンヒューマンティ	1	30	～	1	31	人と未来防災センター、ひめじ防災プラザ、明石市立少年自然の家	<子ども向け防災啓発イベント> ・人と防災未来センター見学 ・明石市少年自然の家で、人と防災未来センターで学んだことに関連したゲームやクイズを実施 ・ひめじ防災プラザ見学 小学生・中学生5名程度を1班とし、1班に1名の大学生リーダーを配置	144		自主	地域	401,641	168,000
196	阪神南	子ども防災イベント	特定非営利活動法人ブレンヒューマンティ	1	17	～	1	17	なぎさ公園・人と未来防災センター、岩屋青年会館	<子ども向け防災啓発イベント> ・1・17ひょうごメモリアルウォークに参加し、震災体験や教訓について、語り伝える。 ・人と防災未来センターを見学し、防災クイズ等を行う。 ・その日に学んだことを振り返り、話し合う。 小学生・中学生5名程度を1班とし、1班に1名の大学生リーダーを配置	128		自主	地域	409,198	190,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
197	阪神北	人と人が支え合う地域の絆	地域で育てる仲間づくりの会	10	1	～	3	31	緑ヶ丘公園内緑ヶ丘センター 遺族会館	<防災訓練> ・災害防災センター見学(11月) ・消火体験、地震体験、山崎断層についての説明 ・防災訓練(初期消火訓練、応急救護講習、心肺蘇生法、避難訓練)(12月) ・炊き出し訓練(1月) ・防災講演会等(1月) ・震災から15年 地域の絆(震災パネル、防災講話等)(3月)	1,000		自主	地域	605,374	222,000
198	阪神北	宝塚音楽回廊2009(TAKARAZUKA MUSIC PRPMEN ADE 2009)	宝塚音楽回廊実行委員会	11	14	～	11	14	宝塚ソリオホールほか市内15会場、巡回バス	<追悼音楽ライブ> ・「音楽の街・宝塚」の震災復興のアピールと、内外の支援に対する感謝を込めて、宝塚市内各所で音楽ライブを開催 ・メイン会場となる宝塚ソリオホールにおいて、防災パネルを展示 ・地域情報紙と連携し、ライブ情報にあわせて震災の記録等を掲載 ・コミュニティFMと連携し、ライブ情報にあわせて防災啓発情報を放送	5,500		自主	地域	3,265,815	500,000
199	阪神北	緑台・陽明地区自主防災総合訓練	緑台・陽明地区自主防災会	10	25	～	12	28	川西市立陽明小学校校庭	<防災訓練>10/25(日) ・巨大地震・火災に備える避難訓練 ・災害時要援護者の避難誘導訓練 ・応急救護講習、ミニ消防車による消火訓練、災害を想定した炊き出し <マップづくり>10/25(日)～12/28(月) ・地域の安全・安心マップづくり	470		自主	地域	572,949	225,000
200	阪神北	2009 大和商店会防災キャンペーン&防災街角ギャラリー&防災スタンプラリー大会	大和商店会	12	1	～	1	15	平木谷公園、大和商店会 加盟店各店	<防災啓発イベント> ・応急救護講習と展示AEDを使用した適切な人命救助法 ・防災グッズ、非常用持ち出し袋、防災マップの展示 ・プロの建築家による耐震補強のワンポイントアドバイス講習 ・震災1.17を忘れないための防災街角ギャラリー ・防災マップを利用したスタンプラリー ・餅つき、非常食のお菓子づくり	800		自主	地域	801,452	374,000
201	阪神北	安心・安全・3世代が魅力を感じるまちづくり(第10回大和夢ナリエ)	大和の夢かなえたい実行委員会	10	1	～	1	31	平木谷公園南、能勢電鉄畦野駅前及びロータリー周辺	<追悼イベント> ・地域の防災関連情報コーナーを設置(震災写真、フェニックス共済、防災関係ポスター) ・駅前周辺の追悼ライトアップ(12月～1月) <防災訓練> ・心肺蘇生法、止血法、AED操作方法等の応急救護措置講習(4箇所) ・3世代ウォークラリーにより地域内の指定避難場所を回り、自宅から最短の避難場所を確認(8箇所)、災害時要援護者の避難誘導訓練、炊き出し訓練(8箇所)	12,000		自主	地域	503,804	225,000
202	阪神北	西相野区自主防災会	西相野区自主防災会	11	29	～	11	29	西相野会館	<防災訓練> ・震災グッズ等の展示 ・震災語り部による講話 ・消火訓練、煙道体験訓練 ・AED訓練 ・炊き出し訓練	60	-	自主	地域	121,891	60,000
203	阪神北	あかしあ台自主防災フェスティバル	あかしあ台自治会	11	14	～	11	15	野島断層保存館あかしあ台コミニティーハウス	<防災啓発イベント> ・野島断層保存館見学(11/14(土)) ・防災講座(以下11/15(日)) ・防災グッズおよび防災情報の展示 ・住宅家具転倒防止Eディフェンス実験記録の上映 ・AED心肺蘇生法訓練	300	-	自主	地域	932,967	293,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
204	阪神北	弥生が丘みんなで減災意識向上防災訓練	兵庫県三田市弥生が丘自治会	11	28	～	11	28	三田市立弥生小学校校庭	<防災訓練> ・弥生小学校全生徒および地域住民による防災訓練 ・講話(三田市の地震危険度、昼間地域に残る女性・お年寄り・子どもの役割、災害時要援護者の安否確認方法) ・初期消火、応急救護法、資機材の使用などの初期対応訓練 ・防災クイズ、起震車体験、煙中脱出訓練 ・地震対処方法及びグッズの展示、全生徒参加による炊き出し訓練	700	-	自主	地域	438,863	219,000
205	阪神北	ひょうごアドプト 阪神北チャリティ・フェスタ ～防災意識を高め、安全・安心なまちづくりを考える～	特別非営利活動法人 ソーシャル・デザイン・ファンド	10	17	～	10	17	武庫川河川敷	<防災啓発イベント> ・防災をテーマとした、親子参加型の学習会 ・地元自治会の協力による災害時の連携方法確認と地域支援訓練 ・ひょうごアドプト活動(道路・河川・海岸などの清掃美化活動)のパネル展示 ・チャリティーバザー	800	-	自主	地域	200,400	100,000
206	阪神北	兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください～失った命の数をろうそくの灯火に込めて～	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション	1	16	～	1	17	伊丹市昆陽池公園	<震災追悼イベント> ・震災の犠牲者追悼のためのろうそくの献灯 ・各人がろうそくへ直接自分の「思い」を書き込むことで、忘れかけている当時の体験を思い出させ、防災意識の高まりが期待できる。	7,500	-	自主	全県	4,008,601	2,000,000
207	阪神北	実践活動から学ぶガイドブック3「実践・検証!!地域の危機管理(防災・非常事態システム)(仮称)の作成と発行事業	T.C.C学際研究所	3	1	～	3	31	団体事務局	<危機管理ガイドブックの作成> ・阪神・淡路大震災をはじめとする多くの災害現場での活動経験を生かし、地域のパイプになるような危機管理(防災・非常事態)ガイドブックを作成し、全国の公共施設(学校、図書館)、自治体、地域組織等へ配布	配布数 6,000	-	自主	全県	4,017,527	1,930,000
208	阪神北	オペラ「白い雲のかなたに」	神戸室内オペラ	1	17	～	1	17	郷の音小ホール	<震災オペラ> ・震災を題材にしたオペラ「白い雲のかなたに」を上演。上演の前に「震災を乗り越えて」という題の講話を実施することにより、震災の追体験を行う。	360	-	自主	全県	2,000,422	1,000,000
209	阪神北	1月17日 震災15周年メモリアルデー	NPO法人日本レスキュー協会	1	1	～	3	31	NPO日本レスキュー協会グラント、兵庫県全域	<震災追悼イベント等> ・ひょうご安全の日(1/17)に、県内各市町の防災関係者、近隣住民、全国の支援者に参加を呼びかけ、阪神淡路大震災追悼式及び、災害救助犬を活用した防災訓練を実施するとともに広報誌を作成し、行政関係者、全国の会員に発送する。 ・県内各市町等が主催する、防災訓練に参加。	配布数・参加者数 4,700	-	自主	全県	1,008,237	504,000
210	阪神北	阪神・淡路大震災15周年コミュニティラジオ記念シンポジウム	阪神・淡路大震災15周年コミュニティラジオ記念事業実行委員会	1	22	～	1	22	兵庫県民会館	<防災シンポジウム> ・基調講演(震災発生当時の被害状況・復興過程の様子などを振り返りながら、行政、県民等がどのように防災に取り組むべきかの講演を行う(講師:貝原前知事)) ・パネルディスカッション(様々な立場で防災に取り組んできた6人のパネラーにディスカッションを実施(パネラー:齋藤前副知事、森綾子氏等))	120	-	自主	全県	873,776	382,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 区内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
211	阪神北	けやき坂小学校区 総合防災訓練	けやき坂小学校 区コミュニティ推 進協議会	1	30	～	3	6	けやき坂 公民館及 びけやき坂 中央公園	<防災訓練> ・AED講習会 ・介護体験教室 ・家具転倒防止対策等の講習会 ・総合防災訓練	338		自主	地域	160,000	80,000
212	阪神北	あの日を忘れな い！震災15周年 わっしょい冬の元気 まつり	NPOいたみタウ ンセンター	2	14	～	2	14	三軒寺前 広場	<震災記念イベント> ・15周年という節目の年に犠牲者の追悼とこれからも元気に生きていくことを決意するた め、ダンスを中心としたイベントを開催 ・震災を思い起こしてもらうため、震災写真展と震災ビデオの上映を実施	18,000		自主	地域	1,238,947	550,000
213	東播磨	尾上地区防災フェス ティバルならびに年 末クリーン作戦	養田まちづくり委 員会	10	1	～	3	31	尾上町養 田公会堂、 佐用町	<防災啓発イベント> ・山崎断層地震に備え、家具転倒防止策や避難場所・避難経路の確認など住民の認識 と心構えについてチラシ等により啓発 ・神戸星城高校吹奏楽部による追悼コンサート ・炊き出し訓練、加古川消防署の協力による消火訓練、人命救助講習 ・防災クイズ形式による防災学習、フェニックス共済加入促進 ・人と防災未来センターの視察、防災学習、被災地交流	475	-	自主	地域	821,429	358,000
214	東播磨	「高砂市総合防災 訓練」及び「1.17は 忘れない高砂集会」	防災リーダーた かさこ	11	1	～	1	17	・高砂市立 中筋小学 校 ・高砂市中 央公民館	<防災訓練> ・講話「阪神・淡路大震災に学ぶ」、ビデオ放映「激震の記録」 ・救命救急実習(心肺蘇生法、AED操作法) ・我が家の安全チェックポイント(家庭の安全を考えよう、地震が起きても安全な部屋のレ イアウト、家具の転倒防止の実施例) ・震災パネル展	400	-	自主	地域	185,128	74,000
215	東播磨	若い夢フェスティバ ル2009～防災フェス タ～事業	加古川市青年 団体連絡協議会	11	29	～	11	29	加古川市 役所前広 場	<防災啓発イベント> ・防災・減災による展示、消火訓練、消防服試着、防災グッズ・保存食等の展示、紙ぶる る(防災教材)の工作などを体験しながらコースを回るスタンプラリーの開催 ・女性消防団による幼児向け防災体操の講習、消防車・高所作業車・救急車などの展 示、AED等の救急救命講座 ・フェニックス共済等に関する展示	3,000	-	自主	地域	920,404	442,000
216	東播磨	親子で学ぶ「災害等 への備え学習」事業	親子で防災を考 える会	10	14	～	3	31	大中遺跡 公園 他	<防災講習会>(播磨中央公民館、稲美町加古福祉会館 6回) ・地元消防団による防災紙芝居や啓発劇と緊急救命法の講習 ・防災グッズを展示、非常用持ち出し品の点検 <防災講習会(体験型)>(明石市立防災センター 1回) ・地震体験、消火体験、煙避難訓練 <防災・被災体験キャンプ>(大中遺跡 古代の村公園 1回) ・周辺の避難地ウォークラリーや防災食の調理実習	423	-	自主	地域	328,017	148,000
217	東播磨	加古川グリーンシ ティ防災まちづくり 推進事業	加古川グリーン シティ防災会	10	1	～	3	31	加古川グ リーンシ ティ 他	<防災訓練> ・災害図上訓練(DIG)、高層階よりの避難訓練・救出訓練、「安否確認プログラム」、運用 訓練、災害を想定した炊き出し訓練 ・グリーンシティ応急手当普及員による市民救命士養成講座 <その他防災啓発> ・防災学習会、講演会、防災インターネットラジオによる「防災意識の向上と啓発」 ・「加古川グリーンシティ防災ハザードマップ」作成、防災カレンダー作成 など	1,000	-	自主	地域	1,461,111	500,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
218	東播磨	災害への備えの充実～給食施設における緊急時相互支援ネットワーク	明石給食施設協議会	10	1	～	3	31	明石健康福祉事務所 他	<給食施設の防災ワークショップ> ・備蓄食品(形態・味・調理加工方法)や熱源の確保等について学習・検討する備蓄食品体験会 ・地震災害により食事が提供できなくなったことを想定し、給食施設間で食事提供支援をするための机上訓練 ・合同研修会を開催し、災害に対する備えや相互支援についての講演や実践発表、非常用備蓄品等の展示	190		自主	地域	178,759	89,000
219	東播磨	大震災教訓発信シリーズ“もっと伝えよう”ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう!!」	日本赤十字社兵庫県支部	1	9	～	1	9	稲美町立天満東小学校	<ボランティアセンターの立ち上げ訓練、防災啓発イベント> ・避難所を想定し、ボランティアによるボランティアセンターの立ち上げ・運営、救護所等の開設 ・ボランティアセンター設置・運営、炊き出し等 ・県民参加型の救護体験コーナー ・災害救援物資や活動紹介パネルの展示等を実施	600	-	自主	全県	1,283,337	625,000
220	東播磨	元気な魚住いいだっ子シンポジウム()	住みよい住みたいたい魚住まちづくり協議会	3	6	～	3	6	明石市立魚住小学校	<防災啓発イベント> ・講話「安全安心のまちづくり:防災対策」 ・応急救護講習 ・救急(消防)車車両の実物体験 ・炊き出し	270		自主	地域	335,393	167,000
221	東播磨	災害発生想定時給食施設間相互支援実施訓練	加古川・高砂・加古郡給食施設協議会	2	24	～	2	24	東播磨生活創造センター	<給食施設間相互支援実地訓練> ・施設に火災が発生したと想定。施設からの要請により、協議会が他施設に対し、人的及び災害用備蓄食品の支援を依頼 ・施設内の屋外空き地にテントを張り、代替厨房として設営。清掃消毒、備蓄食品を使った調理、盛り付けを実施	59	-	自主	地域	118,116	50,000
222	北播磨	第11回ボランティアのつどい	ボランティアのつどい実行委員会	1	23	～	1	23	加西市健康福祉会館	<防災ボランティアに関するイベント> ・防災ボランティア推進に関する講演 ・防災ボランティア等の体験発表 ・防災ミニ講座(救急救護など) ・ボランティア体験、防災体験(手話、起震車、消火、AEDなど) ・炊き出し訓練	761	-	共同	全県	380,000	190,000
223	北播磨	自由が丘連合自主防災会 自主防災訓練	自由が丘連合自主防災会	1	16	～	1	16	自由が丘中央公園	<防災訓練> ・避難・誘導訓練 ・給水・炊き出し訓練 ・煙避難訓練 ・救急・救命訓練 ・初期消火訓練	600		自主	地域	257,963	125,000
224	北播磨	つみっく防災スクール	特定非営利活動法人つみっく(こ)くらぶ	1	4	～	2	21	小野市立下東条小学校等	<子供向け防災スクール> ・講話「震災体験者に学ぶ」(災害時の地域連帯力の大切さなど) ・防災グッズ「つみっく」を活用したワークショップ ・つみっく(樹つみっくが製造・販売する木製ブロック)を活用した簡易避難所づくり ・防災リーダーのための「つみっく」災害復興支援研究会	400	-	自主	地域	1,392,390	300,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
225	中播磨	上原田地区自主防災訓練	上原田自治会	10	25	～	10	25	上原田スポーツ公園	<防災訓練> ・避難訓練、消火訓練、被災者救護(AED操作等)、炊き出し、防災機器の点検、交通統制訓練	223	-	自主	地域	406,187	150,000
226	中播磨	自主防災かみかわ第5・6・7支部防災訓練	自主防災かみかわ	11	1	～	11	1	神河町立寺前小学校	<防災訓練> ・避難訓練、消火訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、救護訓練、炊き出し訓練	1,500	-	自主	地域	485,105	200,000
227	中播磨	きっかけは姫路から！佐用とつなぐ未来への絆～佐用災害復興支援シンポジウムin姫路～	起業支援ネットワークNICe姫路実行委員会	3	11	～	3	21	姫路市文化センター及び佐用町内	<災害復興支援シンポジウム> ・平成21年台風第9号により大きな被害を受けた佐用町の周辺地域の民間にどのような支援ができるのか、どのような支援を望まれているのか、佐用町在住の方や復旧・復興支援活動に取り組まれている個人、団体がパネルディスカッションを行い、今後、民間ができる復興支援について、効果的な方策を見い出す機会とするとともに、広く佐用町の現状を訴え、復興支援の輪を広げる。	1,000	-	自主	全県	2,058,601	975,000
228	中播磨	自主防災総合訓練	姫路市神屋町三丁目自治会 自主防災会	1	24	～	1	24	神屋町三丁目町内、南神屋後援等	<防災訓練> ・避難・誘導訓練、救出・救助訓練 ・給水・炊き出し訓練 ・消火訓練 ・河川転落者の救助訓練 ・仮設水洗トイレに設置 ・高層マンションからの救出訓練 等	214	-	自主	地域	295,135	100,000
229	西播磨	「守れいのちを！」防災啓発冊子作成事業	NPO法人ひょうご地域防災サポート隊	10	1	～	3	31	団体事務局	<防災啓発冊子の作成> ・平成21年2月に実施した「守れいのちを！地域防災講演会」の講演内容等をもとに、住宅の耐震化や家具の転倒防止対策に関する防災啓発冊子を作成し、地域防災組織や関係行政機関等に配布 「守れいのちを！地域防災講演会」の内容 安全な住まい方と住宅の耐震化(講師:関西学院大学教授 室崎益輝氏) 家具等の転倒防止対策の実際(講師:東京消防庁 川村達彦氏)	500部	-	自主	全県	614,591	300,000
230	西播磨	北之町自治会自主防災訓練&研修会	北之町自治会	10	18	～	11	8	北之町自治会公会堂	<防災訓練> ・DIG(災害図上訓練)、応急救助訓練、炊き出し訓練(10/18(日)) <防災研修会> ・北淡震災記念公園視察研修会(11/8(日))	146	-	自主	地域	505,176	121,000
231	西播磨	被災児メンタルケア～第2回佐用町あおぞら色彩楽園～	色彩楽園	1	17	～	1	17	佐用町子育て学習センターキララツママプラザ	<被災時のメンタルケア> ・震災時の教訓を活かし、平成21年8月の台風9号による豪雨災害により被災した子どもたちに絵を描いてもらうことにより、メンタルケアを行う。 ・子どもの心のケアハンドブックの作成	102	-	自主	地域	190,141	87,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
232	但馬	ふれあいの祭典 コウノトリ翔(かけ)る但馬まるごと感動市「震災15周年特別企画」	但馬まるごと感動市実行委員会	11	14	～	11	15	県立但馬ドーム	<防災啓発イベント> ・行政関係ブース(震災の教訓・防災力強化県民運動のパネル展示、耐震関係相談コーナー、耐震模型の展示、住宅再建共済基金のPR、非常用備蓄食品の紹介等) ・企業関係ブース(エコ発電海水・汚水淡水化給水車、災害時に役立つ簡単レシピ等) ・地域団体ブース(防災迷路等)	113,000	-	自主	全県	538,271	260,000
233	但馬	「1.17は忘れない!地震防災・減災セミナー」出前講座	(社)兵庫県建築士会 南但支部 青年委員会	11	20	～	11	20	朝来市立 枚田小学校 体育館	<防災出前講座> ・建築士会による講話「防災・減災対策は地域活動と学校教育から」 ・実物大振動実験(Eディフェンス)のビデオ放映 ・実物大木造軸組模型での地震時の筋かいの役割を実演 ・家具等の転倒による二次被害の実演と転倒防止器具の使い方 ・身近にあるものでできる防災スリッパ ・防災グッズの展示、非常食の試食	500	-	自主	地域	330,079	135,000
234	但馬	西花園区防災ネット 防災訓練	西花園区防災ネット	11	8	～	11	8	西花園区 会館	<防災訓練> ・防災リーダー(各組長)の集合訓練(全戸配布の「西花園区災害対応マニュアル」による) ・救命救急訓練(心肺蘇生法、止血法) ・消火器・救助搬送訓練 ・防災グッズの展示 ・炊き出し訓練	150	-	自主	地域	152,986	75,000
235	但馬	浜坂支部の建築士と美方郡内の住民が手を携えて行う減災対策活動	(社)兵庫県建築士会 浜坂支部 青年部会	1	19	～	1	22	兎塚小学校 長井小学校	<防災セミナー> ・実大三次元振動破壊実験の映像上映と解説 ・壁断面モデルを用いた、耐力壁の有効性や家具金具固定の効果体験 ・セミナーで学んだことについて各家庭で話し合いの場をもってもらい、後日感想文を提出していただく。	204	-	自主	地域	215,200	107,000
236	丹波	福住校区防災訓練	福住校区まちづくり協議会	2	7	～	2	7	福住コミュニティーセンター	<防災訓練> ・防災講話 ・応急・救護訓練 ・初期消火訓練 ・煙体験訓練 ・炊き出し訓練 ・防災グッズ、防災パネルの展示	230	-	自主	地域	183,815	70,000
237	丹波	八上小学校校区防災訓練	八上小学校校区自治会会長会	2	28	～	2	28	八上小学校	<防災訓練> ・消火訓練 ・煙体験 ・放水訓練 ・AED ・土嚢使用訓練	230	-	自主	地域	128,507	64,000
238	丹波	大山地域防災訓練	篠山市大山校区自治会会長会	2	10	～	2	10	大山小学校	<防災訓練> ・避難訓練 ・災害時要援護者避難訓練 ・煙体験 ・起震車体験 ・防災講話 ・炊き出し、非常食試食	162	-	自主	地域	145,906	60,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
239	丹波	みんなでまもろう いのち きずな ま ちフォーラム2009	みんなでまもろう いのち きずな まちフォーラム実 行委員会	1	16	～	1	16	篠山市民 センター 多目的 ホール	<災害時要援護者支援対策に関するフォーラム> ・基調講演「災害時要援護者支援体制の構築のために」 ・事例発表 先進的に要援護者支援対策に取り組んでいる自治会の発表 篠山市の要援護者支援体制の施策 等を行うことにより、今後の災害に備える。	140	-	共同	地域	200,000	100,000
240	淡路	震災からの復興とス ポーツアイランド淡 路島シンポジウム	NPO淡路島ス ポーツアシスト	11	14	～	11	14	北淡震災 記念公園	<震災復興とスポーツに関するシンポジウム> ・震災当時と現在の写真の展示、映像の放映 ・スポーツを通じた淡路島の復興と地域経済の活性化に関するパネルディスカッションの 実施 ・上記の結果を新聞に掲載し、震災の経験と教訓を広く県民に発信	150		自主	全県	2,400,000	1,200,000
241	淡路	食の島“あわじ”うま いもんフェア	食の島“あわじ” うまいもんフェア 実行委員会	11	21	～	11	21	洲本市文 化体育館 市民広場 等	<震災記念ブース> ・震災を思い起こすとともに、将来の災害に備え、災害を想定した炊き出し・非常食の試 食を実施 ・南海地震津波対策等に関する展示 <その他のブース> ・淡路ビーフなど淡路島を代表する料理・特産物の試食・販売、伝統芸能等の実演を行う 島っこステージなどを開催	31,000		共同	全県	12,443,000	648,000
242	淡路	「防災・減災の日」 啓発活動	洲本市建設業協 同組合	10	19	～	10	26	洲本市内 各地	<防災啓発広報> ・平成16年の台風23号による被害を忘れないよう10月20日を「防災・減災の日」と位置付 け、市内各要所に横断幕、懸垂幕、のぼりを設置 ・防災・減災啓発ステッカーを作成し、組合の作業車両等に貼り、防災について啓発	95		自主	地域	210,000	100,000
243	淡路	阪神・淡路大震災を 伝える移動写真資 料展	NPO法人 淡路 島アートセンター	10	1	～	1	31	洲本市民 工房ほか	<震災写真資料展> ・震災の被災地である淡路島において、震災当時やそこからの復興の様子を振り返る移 動写真資料展を開催 ・上記の展示会のなかで、スタッフが震災語り部となり、参加者に震災の経験と教訓を継 承	500		自主	地域	607,264	300,000
244	淡路	震災復興記念中村 紘子ピアノ協奏曲コ ンサート	淡路ピアノニッ シモ・インターナシ ョナル	1	26	～	1	26	しづかホ ール	<震災復興記念コンサート、写真展> ・世界的ピアニストの中村紘子氏と著名オーケストラの共演により、震災の追悼と復興祝 うピアノコンサートを実施 ・阪神・淡路大震災写真展、防災グッズ等の展示、防災に関する講話を同時開催し、震 災の記憶を思い起こし、復興し元気になった姿を発信していく。	2,400		自主	全県	9,001,792	4,390,000
245	淡路	被災地の子どもたち との語り合い	財団法人淡路島 くうみ協会	3	21	～	3	30	淡路夢舞 台国際会 議場	<震災記念イベント> ・震災時に生まれた被災地の子どもたちとノーベル賞受賞者 野依良治(のよりりょうじ・ 化学)氏や、益川敏英(ますかわとしひで・物理学)氏、建築家安藤忠雄氏との、「震災に 負けない生きる力」をテーマとした語り合い	600		自主	全県	950,710	475,000

NO.	地域	事業名	実施団体	実施月日					実施場所	主な実施内容	参加者数 (人)	被災 地内	主体 区分	規模 区分	総事業費 (円)	
				月	日	～	月	日							助成額 (円)	
246	淡路	北淡国際活断層シンポジウム2010	北淡国際活断層シンポジウム実行委員会	1	17	～	1	21	北淡震災記念公園	<国際防災シンポジウム> ・普及講演会「地震と活断層の最新科学と地震防災」 ・国際学術シンポジウム ・海外研究者と地元市民との交流会や六甲山地周辺の断層帯などの現地視察	520		共同	全県	6,571,178	2,658,000
247	淡路	淡路島の復興を推進する スポーツと観光による地域活性化シンポジウム	淡路島サイクルフェスタ2009実行委員会	3	27	～	3	27	淡路夢舞台国際会議場	<震災記念シンポジウム> ・サイクリングイベントと運動して、震災で培った教訓を活かし、今後の淡路島の復興と地域の経済活性化をスポーツと観光を通して考えるシンポジウムの開催 ・防災啓蒙用パネルの展示 ・会場の国営明石海峡公園から野島断層保存館までの自転車ツーリングの実施(野島断層保存館を見学)	284		共同	全県	1,615,750	807,000
248	淡路	1.17追悼の夕べ	ウエストコートぐんげ商店街協同組合	1	17	～	1	17	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	<震災追悼イベント> ・花や蝋燭で作成したキャンドルを鎮魂灯として、会場内や隣接する商店街メイン通りに設置し黙祷を実施 ・鎮魂のハンドベル、吹奏楽演奏、和太鼓演奏、伝統芸能を実施 ・震災当時に振り返り、炊き出しを行うほか、災害に強い建物づくり相談会などを実施	380		自主	地域	435,770	200,000
249	淡路	フェニックス合唱団 鎮魂の譜	北淡震災記念公園 野島断層保存館	1	17	～	1	17	北淡震災記念公園	<鎮魂コンサート> ・阪神・淡路大震災15周年を迎え、犠牲者への鎮魂の祈りと復興の想いを込めて、唄を参加者全員で合唱する。	200		自主	地域	112,565	56,000
250	淡路	みんなで防災体験 やってみよう	NPO法人ネイティブ淡路島	3	14	～	3	14	人と防災未来センターほか	<防災体験学習バスツアー> ・子ども達と保護者を対象に人と防災未来センターや兵庫県広域防災センターでの防災体験を通して、防災に対する知識と意識を高めてもらう。 ・より防災知識を得られるよう、バス中で防災クイズを実施する。	40		自主	地域	302,499	120,000
251	県外	ジャパン・ヴィルトーゾ・シンフォニー・オーケストラコンサート ～名手たちの交響楽団～ 第18回大阪公演	JVSO震災15周年メモリアルコンサート実行委員会	1	4	～	1	4	ザ・シンフォニーホール	<震災記念コンサート> ・震災から15年目にあたり、過酷な運命に直面し、幾多の困難と向かい合いながら、真摯な努力で復興を遂げた方々に、日本を代表する演奏家達が集結したオーケストラにより19世紀の三大作曲家達の交響曲を応援歌として贈る。 ・アンコールには、震災後に三枝成彰氏が震災犠牲者の鎮魂のために作曲した「チェロのためのレクイエム」を演奏。	1,656	-	共同	全県	28,108,300	2,000,000
252	県外	“あっ！その時あなたは”	特定非営利活動法人ボランティア亀田	2	7	～	2	7	江南区市民会館	<被災地交流シンポジウム、ワークショップ> ・パネルディスカッション 神戸と新潟の震災体験者(6～8人)に、発災から数日間の活動体験を話していただき、その後、自助・共助の状況について討論。 ・分科会形式で座談会を行い、グループ毎に発表。後日、コミュニティが災害の備えとして何ができるかを分析。	84	-	自主	地域	362,448	171,000
合計			252件							1,133,509	222			738,915,236	246,693,000	